

講師のプロフィール



すが わら かつ よし
菅原 勝吉

1967年 静内町に生まれる。
1986年 北海道静内高等学校卒業
1990年 静内町生活相談員となる。
北海道ウタリ協会静内支部に入会と同時に同支部事務局次長となる。
1998年 静内アイヌ語教室で本格的にアイヌ語の勉強を始める。
2005年 現在、静内アイヌ語教室講師を務める。

協力者の紹介

かね まる
金丸 テツ

1927(昭和2)年生まれ。幼い頃、父金丸鶴松さん、母金丸ツカさんから聞いて覚えた子守歌をLesson36「金丸テツさんの伝承」で歌う。

かり の よし み
狩野 義美

1933(昭和8)年生まれ。幼い頃、祖母の芦沢カメさんの膝に抱かれ、幾度となく耳にして覚えた言葉をLesson30「狩野さんの伝承1」及びLesson33「狩野さんの伝承2」で語る。

ふく しま まさ いち
福嶋 正一

1950(昭和25)年生まれ。昭和50年、60年代に静内町の高田勝利さん、葛野辰次郎さんからカムイノミについて学ぶ。本講座ではLesson23「シャクシャイン法要祭について」でカムイノミの言葉を語る。

し が せつ こ
志賀 雪湖

1981年より、静内町の織田ステノさん、虎尾ハルさん、葛野辰次郎さんにアイヌ語を学ぶ。

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

このテキストで用いられているアイヌ語の例文は、静内方言の話者である織田ステノ氏、虎尾ハル氏、葛野辰次郎氏からご教示いただいたものです。

このテキストで用いられているアイヌ語のカタカナ表記は、『アコロイタク』（札幌、北海道ウタリ協会、1994）の表記にほぼ従っていますが、kor はコロあるいはコルと表記しています。ヌカラ nukar がヌカン nukan と発音されている場合は、カナ表記もローマ字表記もそのままヌカン nukan と表記しています。

【静内アイヌ語教室の活動について】

静内アイヌ語教室は、水・土・日曜日にシャクシャイン記念館、または静内町公民館で行われています。なお、詳しいお問合せ先は次のとおりです。

静内町役場住民福祉課福祉係

TEL 代表 01464-3-2111 内線119 FAX 01464-3-3900

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	Lesson	テ - マ	ページ
1月	1日	40	みそ汁を私達は食べることができる … 織田ステノさんのイコペプカ 1	4
	8日	41	おいしいものだ … 織田ステノさんのイコペプカ 2	6
	15日	42	妹も「おいしい。おいしい。」 … 織田ステノさんのイコペプカ 3	8
	22日	43	このように おじいさん達のところでも … 織田ステノさんのイコペプカ 4	10
	29日	44	これから おまえも大きくなったら … 織田ステノさんのイコペプカ 5	12
2月	5日	45	まとめ「3つのアリ ari」 … 織田ステノさんのイコペプカ	14
	12日	46	公開収録 自動詞と他動詞の人称変化	16
	19日	47	どのようにして生まれた者が私で … アカゲラになった女の子 1	18
	26日	48	私の祖母が言うことはこうだ … アカゲラになった女の子 2	20
3月	5日	49	日が暮れると水を … アカゲラになった女の子 3	22
	12日	50	日が暮れるとやっと … アカゲラになった女の子 4	24
	19日	51	私は泣いていたのですが … アカゲラになった女の子 5	26
	26日	52	まとめ「他人の言葉の引用」 … アカゲラになった女の子	28

本文

- 1 「みそ ルル **アエ** エアシカイ。
“MISO rur a=e easkay.
「みそ汁 を私達は食べる ことができる。」
- 2 ケラアン ルル **アカラ** ワ
keraan rur a=kar wa
おいしい汁 を私達は作って
- 3 **アエ** エアシカイ」 アリ
a=e easkay” ari
私達は食べ られる」 と
- 4 ハポ アナク ヤイコプンテク。
hapo anak yaykopuntek.
母 は 喜んだ。
- 5 ウサ ルルカラ、アマム スイエ イネ
usa rurkar, amam suye ine
あれこれ 汁を作り、御飯 を炊いて
- 6 ルル オシケ ウン カスプ アリ
rur oske un kasup ari
汁 の中 へ しゃもじ で
- 7 ネッパワタブ オソマ コラチ アン ペ
neppawatap osoma koraci an pe
何か うんち みたいな ものを
- 8 ハポ アリ ニセ イネ アリ …
hapo ari nise ine ari …
母が こう すくって こうやって …
- 9 「ハ～ イチャッケレ。その ルル アナク
“ha icakkere. SONO rur anak
「あ～ きたない。その 汁 は
- 10 **クエトランネ。 イチャッケレ**」
ku=etoranne. icakkere”
私は嫌だ。 きたないなあ」
- 11 アリ **クハウキ カネ**
ari ku=hawki kane
と 私は言い ながら
- 12 **クパスイエスイエ イ タ**
ku=pasuyesuye i ta
私が頭をふった 時に

アイヌ語の解説

第4期は、静内地方でイコペプカ ikopepka と呼ばれるジャンルのお話を紹介します。イコペプカ ikopepka は、個人の体験談、家の言い伝え、村の言い伝え、由来譚など幅広い内容を含むジャンルです。他の地域では、ウバシクマ upaskuma、ウチャシクマ ucaskuma などよばれています。

織田ステノさん（1901年-1993年）はアイヌ語を使った生活の中で育ちました。子守奉公がきっかけで片言の日本語をおぼえますが、奉公からもどって日本語を使ったところおじさんに叱られたのだそうです。以後、大人になって和人に混じって働くようになるまでは、アイヌ語を使うよう心がけていたとおっしゃっていました。

レッスン40～44までは、味噌を初めて見たときの織田さん自身の体験談を紹介します。このレッスンでは、味

噌を入手して喜んでいるお母さんとは対照的に、織田さんが味噌を初めて見たときの驚きが語られています。

お母さんの言葉や織田さん自身の言葉は、アリ ari（3行目、11行目）で引用されています。言葉を引用する「～と」も方言差のある言葉で、沙流、千歳、鶴川、旭川などでは セコロ sekoro が使われます。アリ ari は、引用の「～と」以外に、手段を示す「～で（もって）」、しぐさを説明するときに使う「こういうふうに」の3つの場合がありますから、どの意味で使われているのか文脈から判断しなければなりません。

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	a=	(相手を含む) 私達が
アナク	anak	～は
アマム	amam	穀物、御飯
アリ	ari	このように
アリ	ari	で（もって）
アリ	ari	～と（言う、思う）
アン	an	いる、ある
イ	i	～するとき、～すること
イコペプカ	ikopepka	体験談、言い伝え
イチャッケレ	icakkere	きたないなあ
イネ	ine	～して（そして）
ウサ	usa	あれこれ、いろいろ
ウン	un	～へ
エ	e	を食べる
エアシカイ	easkay	～できる
エトランネ	etoranne	～が嫌だ、～するのは気が進まない
オシケ	oske	の中
オソマ	osoma	うんち
カスプ	kasup	しゃもじ（しゃくし）、お玉
カネ	kane	ながら
カラ	kar	を作る、（山菜）を採る
ク	ku=	私は、私が
ケラアン	keraan	おいしい
コラチ	koraci	～のように
スイエ	suye	を炊く、を煮る
タ	ta	～で、～に
ニセ	nise	をすくう、をくむ
ネッパワタブ	neppawatap	何か
ハウキ	hawki	言う
パスイエスイエ	pasuyesuye	頭を（横に）ふる
ハポ	hapo	母
ペ	pe	～もの
みそルル	MISO rur	みそ汁
ヤイコプンテク	yaykopuntek	喜ぶ
ルル	rur	汁、汁物
ルルカラ	rurkar	汁を作る
ワ	wa	～して

静内地方の旧地名



下方（けぼう）村

静内市街地の旧名です。

この地名は、笹山から流れ出て市街地で静内川に注いでいたピバウ川に由来しています。

昭和9年以前は下流側から下下方、中下方、上下方と呼ばれていました。

本文

- 1 「ケラアン ペ ネ。オソマ カ ソモ ネ。
“keraan pe ne. osoma ka somo ne.
「おいしいものだ。うんちじゃない。」
- 2 みそ アリ アイェ プ
MISO ari a=ye p
味噌 と いう もの
- 3 シサム ニシパ ウタラ カラ ワ
sisam nispa utar kar wa
和人の 旦那 たち が作っ て
- 4 アエ フミ ピリカ プ ネ イケ
a=e humi pirka p ne ike
食べた感じが 良い もの な のに
- 5 タアンペ イペエマカ
taanpe ipeemaka
この子は食べたがらない
- 6 ハウエ エネ アニ アン」
hawe ene an hi an”
なんて」
- 7 アリ ハポ ハウキ カネ
ari hapo hawki kane
と 母が 言い ながら
- 8 カSUP アリ エンキク コロカ
kasup ari en=kik korka
しゃもじで私を叩く けれども
- 9 オソマ ネ ポコン クヌカラ ワ
osoma ne pokon ku=nukar wa
うんち みたいに 私は見 て
- 10 クシトマ プネ ワ クエトランネ。
ku=sitoma p ne wa ku=etoranne.
私は恐かったので 私は気が進まなかった。
- 11 ハポ カSUP アリ エンキク コロカ
hapo kasup ari en=kik korka
母は しゃもじ で 私を叩く けれど
- 12 クエ エマカ。
ku=e emaka.
私は食べるのを嫌がりました。

アイヌ語の解説

お母さんの言葉は、アリ ari で引用されています。カSUP アリ kasup ari 「しゃもじで」の「で」は、手段を示すアリ ari が使われています。

みそ アリ アイェ プ MISO ari a=ye p 「味噌というもの」、アエ フミ ピリカ a=e humi pirka 「食べた感じが良い」というように、一般的な説明をするときには動詞に人称接辞 ア a= や アン an=、アン =an を使います。

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	a=	一般に人が
アリ	ari	で(もって)
アリ	ari	と(言う、思う)
イエ	ye	を言う、に言う
イケ	ike	のを、のに
イペエマカ	ipeemaka	食べたがらない
ウタラ	utar	～たち
エ	e	を食べる
エトランネ	etoranne	～嫌だ、～するのは気が進まない
エマカ	emaka	を嫌がる、を嫌う
エン	en=	私を
オソマ	osoma	うんち
カ	ka	も
カSUP	kasup	しゃもじ(しゃくし)、お玉
カネ	kane	ながら
カラ	kar	作る、(山菜)を採る
キク	kik	を叩く
ク	ku=	私は
ケラアン	keraan	おいしい
コロカ	korka	けれど、けれども
シサム	sisam	和人
シトマ	sitoma	が恐ろしい
ソモ	somo	～しない
タアンペ	taanpe	これ、この子
ニシパ	nispa	旦那
ヌカラ	nukar	に会う、を見る
ネ	ne	は～である、は～だ、～になる
ハウエ エネ アニ アン	hawe ene an hi an	～するなんて ※文末表現
ハウキ	hawki	言う
ハポ	hapo	母
ピリカ	parka	良い、丈夫だ、立派だ、美しい、きれいだ
プ	p	～もの
プネ	p ne	～ものだ
フミ	humi	音、感じ
ペ	pe	～もの
ポコン	pokon	～みたいに
みそ	MISO	味噌
ワ	wa	～して

静内地方の
旧地名

真沼津(しんぬつ)

現在の駒場の旧名です。

新冠町と静内町の境界付近をこう呼んでいました。

地名の由来は、シノマンヌヅカ(山の出崎)とする説もあります。

本文

- 1 **クマタキ** カ 「ケラアン。ケラアン。
ku=mataki ka “keraan. keraan.
私の妹 も 「おいしい。おいしい。」
- 2 **サポ** ルンニ ワ イヌ。
sapo runni wa inu.
姉さん 汁を飲んで みて。
- 3 **ケラアン。** タネポ
keraan. tanepo
おいしい。 初めて
- 4 **みそ** アリ **アイエ** プ **アンエ**」
MISO ari a=ye p an=e”
味噌 と いうものを 私は食べた」
- 5 **アリ** **クマタキ** カ **イエ** コロカ
ari ku=mataki ka ye korka
と 私の妹 も 言う けれど
- 6 **クエマカ。** **クエトランネ** ヒネ
ku=emaka. ku=etoranne hine
私は嫌がりました。私は気がすまなくて
- 7 **ヘンパクスイ** **ヘンパクスイ**
hempaksuy hempaksuy
何度も 何度も
- 8 **ハポ** シネ ト タ **アルスイ** ランケ
hapo sine to ta arsuy ranke
母が 一日 に 一回 ずつ
- 9 **ルルカラ** **コオンノ** **ネアンペ** オ
rurkar koonno neanpe o
汁を作る と それを 入れ
- 10 **カsup** **アリ** **ニセ** ワ **sup**。
kasup ari nise wa sup.
しゃもじ で すくっ て 煮ました。

アイヌ語の解説

妹さんの言葉は、アリ ari で引用されています。カsup アリkasup ari「しゃもじで」の「で」は、手段を示すアリ ari が使われています。

「私は食べた」クエku=e ですが、その言葉を他の人が引用する場合は下記のように アンエ an=e と言い換えなければなりません。

実際の発言：「みそ アリ **アイエ** **クエ**” “MISO ari a=ye p ku=e”

引用文(3行目)：「みそ アリ **アイエ** **アンエ**” “MISO ari a=ye p an=e”

みそ アリ **アイエ** プ MISO ari a=ye p「味噌というもの」というように、一般的な説明をするときには動詞に人称接辞 **ア** a= や **アン** an=、**アン** =an を使います。**ア**、**アン**という人称はこのように、「(引用文中で)私が」という意味にも「一般に人が」という意味にも使われますから、文脈からどの意味なのか判断しなければなりません。

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	a=	一般に人が
アリ	ari	と(言う、思う)
アリ	ari	〜で(もって)
アルスイ	arsuy	一回
アン	an=	(引用文中で)私は
イエ	ye	を言う、に言う
エ	e	を食べる
エトランネ	etoranne	〜嫌だ、〜するのは気が進まない
エマカ	emaka	を嫌がる、を嫌う
オ	o	〜に〜を入れる
カ	ka	も
カsup	kasup	しゃもじ(しゃくし)、お玉
ク	ku=	私の、私は
ケラアン	keraan	おいしい
コオンノ	koonno	〜すると
コロカ	korka	けれど、けれども
サポ	sapo	姉、姉さん
シネト	sine to	1日
sup	supa	を炊く、を煮る
タ	ta	〜で、〜に
タネポ	tanepo	初めて
ニセ	nise	をすくう、をくむ
ネアンペ	neanpe	それ
ハポ	hapo	母
ヒネ	hine	〜して
プ	p	〜もの
ヘンパクスイ	hempaksuy	何度も
マタキ	mataki	〜の妹
みそ	MISO	味噌
ランケ	ranke	〜ずつ
ルルカラ	rurkar	汁を作る
ルンニ	runni	汁を飲む
ワ	wa	〜して
ワイヌ	wa inu	〜してみる

静内地方の旧地名



目名太(めなぶと)

現在の目名の旧名です。

寛文9年のシャクシャインが蜂起した際に、シャクシャインとオニビシとの仲介役となった金掘文四郎の住居があったところと言われています。

地名の由来は、メムナイ(湧泉池・川)という説やメナブト(細い枝川の合流点)という説があります。

本文

- 1 「**タア** エカシ ウタル オッタ カ
“taa ekasi utar or ta ka
「このように おじいさん達 の所でも
- 2 ポロ オンタロ オシケ タ アン ペ
poro ontaro oske ta an pe
大きい 樽 の中 に ある ものは
- 3 ケラアン ペ ネ ワ ルルカラ コンノ
keraan pe ne wa rurkar konno
おいしいもの で 汁を作ると
- 4 ルル オシケ **アオ** ワ **アエ** プ ネ ワ。
rur oske a=o waa=e p ne wa.
汁 の中 に入れて 食べるものだよ。
- 5 パイカラ アン コンノ スイ
paykar an konno suy
春 になると また
- 6 だいちすぱ**アン** マ **アotte** ワ
DAIZUsupa=an ma a=otke wa
大豆を煮 て 突い て
- 7 タクフ **アカラ** ワ スイ サツ コオンノ
takuhu a=kar wa suy sat koonno
その塊 を作っ て また 乾くと
- 8 ニス オルン **アotte** ア **アotte** ア ワ
nisu or un a=otke a a=otke a wa
臼 へ 突い て 突い てそして
- 9 オロワ カムタチ シッポ **ア**コポイエ ワ
orowa kamtaci sippo a=kopoye wa
それから 麴と 塩 を加え て
- 10 **ア**ホツケレ ワ ケラアン。
a=hotkere wa keraan.
寝かし て おいしくなる。
- 11 ルリヒ **ア**エ フミ ピリカ プ ネ」
rurihi a=e humi pirka p ne”
その汁は 食べた 感じが 良いものだ」

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

アイヌ語の解説

お母さんが味噌の説明をしている言葉です。お母さんの言葉はレッスン44の3行目まで続きます。
「～(する)もの」の「もの」を表わす **ペ pe** と **プ p** は、下記のように前に来る修飾語の語末によって使い分けます。語末が閉じる音(閉音節)の場合は **ペ pe**、語末が開く音(開音節)の場合は **プ p** を使います。レッスン43で **ペ pe** を使った例は、たまたま前が **ン n** の場合しか出ていませんが、たとえば **スム サク ペ sum sak pe** や **チシ ペ cis pe** のような例もあります。

動作の繰り返しを表わす構文「～アa ～アa」はよく出てくる表現ですから覚えておくと良いでしょう。

閉じる音+ ペ pe	アン ペ	an pe	「あるもの」
	ケラアン ペ	keraan pe	「おいしいもの」
	スムサク ペ	sum sak pe	「あぶらのないもの」
	チシ ペ	cis pe	「泣くもの」
開く音+ プ p	アエ プ	a=e p	「食べるもの」
	ピリカ プ	pirka p	「良いもの」

単語

アイヌ語	日本語訳	アイヌ語	日本語訳	
ア	a=	スイ	suy	また
～ア～ア	～a～a	タ	ta	～で、～に
アン	an	タア	taa	このように
ウタル	utar	だいちすぱ アン	DAIZUsupa=an	大豆を煮る
エ	e	タクフ	takuhu	～のかたまり
エカシ	ekasi	ニス	nisu	臼
オ	o	ネ	ne	は～である、は～だ、～になる
オシケ	oske	パイカラ	paykar	春
otte	otke	ピリカ	pirka	良い、丈夫だ、立派だ、美しい、きれいだ
otta	or ta	フミ	humi	音、感じ
オルン	or un	プ	p	～もの
オロワ	orowa	ペ	pe	～もの
オンタロ	ontaro	ホツケレ	hotkere	寝かす
カ	ka	ポロ	poro	大きい、大きくなる
カムタチ	kamtaci	マ	ma	～て
カラ	kar	ルリヒ	rurihi	～の汁、その汁
ケラアン	keraan	ルル	rur	汁、汁物
コオンノ	koonno	ルルカラ	rurkar	汁を作る
コポイエ	kopoye	ワ	wa	～して
コンノ	konno	ワ	wa	よ
サツ	sat			
シッポ	sippo			

静内地方の旧地名



遠仏(とうぶつ)村

現在の田原の旧名で、御園の一部も含まれていました。
この地名は、ト・プツ(沼・～の口)に由来しています。

本文

- 1 「テウンノ **エアニカ** **エ**ポロ アカナク
“teunno eani ka e=poro akanak
「これから おまえも 大きくなったらば
- 2 タア コラチ **エイキ** ワ、**イエ** ナンコロナ。
taa koraci e=iki wa, e=e nankor na.
このとおり お前はして、食べるのだよ。
- 3 **エラムアン**」 **アリ**。
eramuan ” ari.
覚えなさい」 と(母が言った)。
- 4 **エカシ** カ **フチ** カ
ekasi ka huci ka
エカシ も フチ も
- 5 「**イペエマカ** **アナク**
“ipeemaka anak
「好き嫌い は
- 6 **アイシトマ** プ **ネ** **イケ**
an=sitoma p ne ike
おそろしい もの な のに
- 7 **シサム** **カッケマツ** **オロ** **ワ**
sisam katkemat or wa
和人の 奥さん に
- 8 **アネシケレ** **イケ** **イエ**チャッケ
an=e=sikere ike e=ecakke
おまえが持たされた のを おまえはきたながら
- 9 **ルル** カ **イエ** カ **ソモ** **キ**
rur ka e=e ka somo ki
汁 も 食べ も しなかった
- 10 **アカイエ** (=アク **アイエ**)」
ak a=ye ”
そうだね」
- 11 **エカシ** **フチ** **ミナ** **カネ**
ekasi huci mina kane
エカシとフチが 笑い ながら
- 12 **アエン**コイルシカ **ハウエ** **エタプ** **アン**。
a=en=koiruska hawe etap an.
私は叱られた 話なんですよ。

アイヌ語の解説

本文3行目のエラムアン eramuan までは、お母さんが味噌について説明している言葉(レッスン43)の続きです。本文5行目から10行目までは、おじいさんとおばあさんが、味噌を嫌がる孫を笑って叱った言葉です。レッスン40、41、42で勉強した、言葉を引用する アリ ari と違って、おじいさんおばあさんの言葉に出てきた アカイエ ak a=ye、ヤカイエ yak a=ye は「～したそうだ」という伝聞を表わします。

日本語では、「あなたが～される」「私が～される」と言いますが、アイヌ語では次のように「不定の人があなたを～する」「私を～する」と表現します。

「おまえが持たされた」(8行目) **アネシケレ** an=e=sikere → **アン** an=「不定の人が」 **エ** e=「おまえに」+シケレ sikere 「持たせる」

「私は叱られた」(12行目) **アエン**コイルシカ a=en=koiruska → **ア** a=「不定の人が」 **エン** en=「私を」+コイルシカ koiruska 「叱る」

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	a=	一般に人が
アイ	an=アン	一般に人が
アエン	a=en=	私は～された
アカイエ (<アク アイエ)	ak a=ye	～だそうだ
アカナク	akanak	～したなら
アナク	anak	～は
アネ	an=e=	おまえが～される
アリ	ari	と(言う、思う)
イキ	iki	する、行う
イケ	ike	のを、のに
イペエマカ	ipeemaka	食べたがらない
エ	e=	おまえが
エ	e	を食べる
エアニ	eani	おまえ
エカシ	ekasi	おじいさん
エチャッケ	ecakke	をきたながる
エラムアン	eramuan	が分かる、を覚えている
オロワ	or wa	～から、～に
カ	ka	も
カッケマツ	katkemat	婦人、大人の女性
カネ	kane	ながら
キ	ki	をする
コイルシカ	koiruska	を叱る
シケレ	sikere	～に運ばせる、～に持たせる
シサム	sisam	和人
シトマ	sitoma	がおそろしい
ソモ	somo	～しない
ソモキ	somo ki	～しない
タア コラチ	taa koraci	このとおり
テウンノ	teunno	これから
ナンコロナ	nankor na	～だろうよ、～しなさい
ネ	ne	は～である、は～だ、～になる
ハウエ エタプ アン	hawe etap an	～した話なんですよ
フチ	huci	おばあさん、祖母
プ	p	～もの
ポロ	poro	大きい、大きくなる
ミナ	mina	笑う
ルル	rur	汁
ワ	wa	～して

静内地方の旧地名



市父(いちぶ)村

現在の御園の旧名です。

地名の由来は、チピエプ(私生の子)やイチブエイ(しまふくろうの神の居る所)とする説がありますが、詳細は不明です。

3つのアリアリ

- ①「～と」:発言や思ったことの後に置かれて、言葉を引用する。
 ②「こうやって」:動詞の前に置かれて、しぐさを伴っての説明。
 ③「～で(もって)」:名詞の後に置かれて、手段を示す。

例題

次の文章で使われているアリアリ **ari** は、どういう意味なのか答えましょう。()内の番号はレッスン番号です。

- 1 「みそ ルル **アエ** エアシカイ。」 アリ ハポ アナク ヤイコブンテク。(40)

“MISO rur a=e easkay” ari hapo anak yaykopuntek.

「みそ汁を 私達は食べることができる。」()母 は 喜んだ

- 2 オソマ コラチ アン ペ ハポ アリ ニセ。(40)

osoma koraci an pe hapo ari nise.

うんち みたいな ものを 母が () 作った。

- 3 「イチャツケレ」 アリ **クハウキ**。(40)

“icakkere” ari ku=hawki.

「きたないなあ」 () 私は言った。

- 4 カスプ アリ **エンキク**。(41)

kasup ari en=kik.

しゃもじ () 私を叩く。

- 5 「ケラアン ペ ネ。」 アリ ハポ ハウキ。(41)

“keraan pe ne.” ari hapo hawki.

「おいしいもの だ。」 () 母が 言った。

- 6 カスプ アリ ニセ ワ スパ。(42)

kasup ari nise wa supa.

しゃもじ () すくつ て 煮ました。

※答えは37ページにあります。

MEMO

静内地方の
旧地名



幕別(まくべつ)

現在の御園の一部と農屋の旧名です。

大正11年の大水害で地域の大部分が静内川に水没したと言われているところです。地名の由来は、マクウンペツ(奥のほうの川・枝川になる所)という説があります。

1. 他動詞の人称変化 ※すべての人称接辞が前につきます。

【他動詞】主格人称変化表

～を 私が …	～を 君が …	～を 彼が …	～を 私達(相手含む)が …	～を 私達(相手含まず)が …	～を 君達が …	～を 彼らが …
ク…	エ…	…	ア(ン) …	チ…	エチ…	…

ヌカル nukar 「～を～が見る」(レッスン1) ※ デアル動詞ネ ne も同じ。

【他動詞】目的格人称変化表

彼(ら)が 私を …	彼(ら)が 君を …	彼(ら)が 彼を …	彼(ら)が 私達(相手含む)を …	彼(ら)が 私達(相手含まず)を …	彼(ら)が 君達を …	彼(ら)が 彼らを …
エン…	エ…	…	イ…	ウン…	エチ…	…

ヌカル nukar 「～を～が見る」(レッスン1)

2. 自動詞の人称変化 ※「私達が」のみ、自動詞の後ろにつきます。

【自動詞】主格人称変化表

私が …	君が …	彼が …	私達(相手含む)が …	私達(相手含まず)が …	君達が …	彼らが …
ク…	エ…	…	…アン	…アシ	エチ…	…

ヤイヌ 「～は思う」(レッスン3)

【自動詞】〔単数〕〔複数〕主格人称変化表 ※人称接辞の単複と自動詞の単複は一致。

私が …	君が …	彼が …	私達(相手含む)が …	私達(相手含まず)が …	君達が …	彼らが …
ク〔単〕…	エ〔単〕…	…〔単〕	…〔複〕アン	…〔複〕アシ	エチ…〔複〕	…〔複〕

エクek〔単数〕、アルキarki〔複数〕(レッスン9)

※『平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキストVol.2』の29ページに同じ表を掲載しましたが誤植がありました。表中の〔単〕アンが〔複〕アンとなります。

MEMO

静内地方の
旧地名



碧薬(るべしべ)

現在の豊畑の旧名です。

地名の由来は、ルベシベ(峠道の沢)と言われています。この場所の丘陵を越えるとモンベツ川(捫別川)の上流に出るため、こう呼ばれていたようです。

本文

- 1 ネコン イキワ シクオ クンペ アネ ワ
nekon iki wa sik'o kun pe a=ne wa
どのようにして生まれた者が私であって
- 2 アコロ フチ イレス イネ オカアン。
a=kor huci i=resu ine oka=an.
私の祖母が私を育てて暮していた。
- 3 ポン マッカチ アネ ワ オカアン マ
pon matkaci a=ne wa oka=an ma
幼い女の子に私はなって私はいて
- 4 ラタシケブ エネ アカラ クニ
rataskep ene a=kar kuni
山菜をこのように採ることを
- 5 アコロ フチ イエパカシヌ
a=kor huci i=epakasnu
私の祖母が私に教え
- 6 カネ オカアン ヒネ タネ タンタネ
kane oka=an hine tane tantane
ていて今や段々
- 7 ポン オペレ アネ ワ オカアンコンノ
pon oper a=ne wa oka=an konno
小さい女の子に私がなっていると
- 8 アコロ フチ ハウキ アウ エネ アニ
a=kor huci hawki aw ene an i
私の祖母が言ったことはこういうこと
- 9 「タネ パクノ エアン ルウェネクス
“tane pakno e=an ruwe ne kusu
「もう充分大きくおまえはなったのだから
- 10 ワッカタ ネヤッカ ニナ ネヤッカ
wakkata neyakka nina neyakka
水くみでも 焚き木とりでも
- 11 エキ ナンコンナ」アリアンペ
e=ki nankor na” ari an pe
おまえがするのだよ」ということを
- 12 アコロ フチ イエクス シリペケレ コンノ
a=kor huci ye kusu sirpeker konno
私の祖母が言うので夜が明けると
- 13 ワッカタアン ウサキ、
wakkata=an usa ki,
私は水くみしたり、
- 14 ニナアン カネ オカアン。
nina=an kane oka=an.
焚き木とりしていた。

アイヌ語の解説

レッスン47から51までは、静内町の虎尾ハルさん（1902-1991年）が語ったイコペフカ ikopefka「アカゲラにされた女の子」の話を要約して紹介します。全文は『虎尾ハルの伝承記録 鳥』（2001年、アイヌ民族博物館）をご覧ください。

最初の「自分はどうやって生まれたのかわからない」という表現は、孤児、あるいは祖父母に育てられている子供が自分の身の上を語る時の常套表現です。このレッスンの場面は子供が年齢に応じて生活の知恵を学び仕事をする事が語られています。主人公は祖母と一緒に行動することで、どれが食べられる山菜でどう採るのかを見て覚え、すこし大きくなれば、水くみや焚き木取りをするようになっています。

物語は主人公である女の子の視点で語られていきます。この話全体は、最後に「と女の子がゆった」と締めくくられ、物語自体が長い引用文になっています。そのため、主人公を示す「私が」は、1人称のク ku=ではなく、4人称のア a= や アン an=、アン =an が使われ、「私を」は、エン en=ではなく、イ i= が使われています。

レッスン42でも説明しましたが、ア、アンという人称は「(引用文中で) 私が」(つまり「物語の主人公である私が」)という意味にも「一般に人が」という意味にも使われますから、文脈からどの意味なのか判断しなければなりません。

単語

アイヌ語	日本語訳	アイヌ語	日本語訳	
ア	a=	クンペ	kun pe	～するはずの者
		コロ	kor	を持つ
		コンノ	konno	～(する)と
アウ エネ アニ	aw ene an i	シクオ	sik'o	生まれる
アリアンペ	ari an pe	シリペケレ	sirpeker	夜が明ける、明るくなる
アン	=an	タネ	tane	今、今や、もう
アン	an	タンタネ	tantane	段々
イ	i	ナンコンナ	nankor na	～だろうよ、～しなさい
イ	i=	ニナ	nina	焚き木とりする
イエ	ye	ネ	ne	は～である、は～だ、～になる
イキ	iki	ネコン	nekon	どのように
イネ	ine	ネヤッカ	neyakka	～でも
イルシカ	iruska	ハウキ	hawki	言う
ウサキ	usa ki	パクノ	pakno	充分に、～くらい、～ほど
エ	e=	ヒネ	hine	～して
エネ	ene	フチ	huci	おばあさん、祖母
エパカシヌ	epakasnu	ボン	pon	小さい、幼い
オカ	oka	マ	ma	～て
オペレ	oper	マッカチ	matkaci	女の子
カネ	kane	ラタシケブ	rataskep	ラタシケブ(料理名)山菜
カネ オカ	kane oka	ルウェネ	ruwe ne	のだ
カラ	kar	レス	resu	を育てる、を養う
キ	ki	ワ	wa	～して
クス	kusu	ワッカタ	wakkata	水くみする
クニ	kuni			

静内地方の旧地名



夫蟹(ふかに)村

現在の川合の旧名です。

明治4年から42年までは村名として、明治42年から昭和9年まで大字名として使われていました。

地名の由来は不明です。

本文

- 1 アコロ フチ ハウキ アウ エネ アニ。
a=kor huci hawki aw ene an hi.
私の祖母が言う ことはこうだ。
- 2 「タネ オンネアン ルウェネ クス
“tane onne=an ruwe ne kusu
「もう 私は年をとった のだ から
- 3 ワッカタ!」 アリ ハウキ コンノ
wakkata!” ari hawki konno
水くみしなさい」と 言う と
- 4 「アミブ ピリカ プ アニミレ しないば
“amip pirka p an=i=mire SINAIBA
「着物の きれいなのを私は着せられなきゃ
- 5 ワッカタアン ソモ キ ナ」
wakkata=an somo ki na”
私は水くみ しない から」
- 6 アリアンペ アイエ コンノ
ari an pe a=ye konno
ということを 私が言う と
- 7 アコロ フチ イルシカ カネ アン イネ
a=kor huci iruska kane an hine
私の祖母が 腹を立て てい て
- 8 アミブ サンケワ イミレ コンノ
amip sanke wa i=mire konno
着物を出し て 私に着せると
- 9 ネア アミブ アミ ワ
nea amip a=mi wa
その 着物を 私は着 て
- 10 ペツ オッタ サブアン。
pet or ta sap=an.
川 に 私は行った。
- 11 ニ カ タ リキプアン マ
ni ka ta rikip=an ma
木 の上 に 私は登っ て
- 12 ペツ オンケ タ アトゥママハ アン
pet oske ta a=tumamaha an
川 の 中 に 私の体が ある
- 13 ペネクス、 ネアンペ アンヌカラ ワ
pe ne kusu, neanpe an=nukar wa
ものですから、それを 私は見 て
- 14 アネラムリテン (=アンエラムリテン) カネ
an=eramuriten kane
私は喜び ながら
- 15 ケシト アンコ オカアン ワ
kes to an ko oka=an wa
毎 日 私はい て

アイヌ語の解説

女の子が大きくなるにつれ、祖母は年をとっていきます。水くみはすっかり女の子の役目になっていますが、水くみもしないで川に写った自分の姿ばかりを眺めている場面です。

レッスン44と4行目では受身表現「私は～される」が使われています。レッスン44の「私は叱られた」の場合は「叱られた」のは語り手の織田さん自身でしたから、アエンコイルシカ a=en=koiruska というようにアエン a=en= が使われていました。一方4行目の アニミレ an=i=mire「私は着せられる」は、女の子の言葉の引用ですから、アエン a=en=ではなく、アニ an=i (アン an=「不定の人が」+イ i=「(引用文中で)私を」)が使われています。

また、単数形と複数形をもつ自動詞の後ろに人称接辞 アン=an がつく場合、主語が「私」ひとりであっても、サブアン sap=an、リキプアン rikip=an、オカアン oka=an というように複数形が使われます。

単語

アイヌ語	日本語訳	アイヌ語	日本語訳
ア a=	(物語中で)私(達)が、(物語中で)私(達)の	コロ kor	を持つ
アウ エネ アニ aw ene an hi	(言った)ことはこうだ	コンノ konno	～(する)と
アニ an=i=	(物語中の/引用文中の)私は～される	サブ sap	下がる、(山手から浜手へ)行く
アネラムリテン→アン+エラムリテン		サンケ sanke	を出す
アミブ amip	着物	ソモ キ somo ki	～しない
アリ ari	と(言う、思う)	タ ta	～で、～に
アリアンペ ari an pe	ということ(を言う、を思う)	タネ tane	今、今や、もう
アン an	いる、ある	トゥママハ tumamaha	の体
アン an=	(物語中で)私(達)が	ナ na	よ、ぞ、から
アン =an	(物語中で)私(達)が	ニ ni	木、立ち木
イ i	～するとき、～すること	ヌカラ nukar	に会う、を見る
イ i=	私に	ネア nea	その
イエ ye	を言う、に言う	ネアンペ neanpe	それ
イネ ine	～して(そして)	ハウキ hawki	言う
イルシカ iruska	腹を立てる	ピリカ pirka	良い、丈夫だ、立派だ、美しい、きれいだ
エネ ene	このように	プ p	～もの
エラムリテン eramuriten	を喜ぶ	フチ huci	おばあさん、祖母
オカ oka	いる	ペツ pet	川
オンケ oske	の中	ペネクス pe ne kusu	ものですから
オッタ or ta	～に	マ ma	～て
オンネ onne	年をとる、年老いて死ぬ	ミ mi	を着る
カ ka	の上	ミレ mire	を着せる
カネ kane	ながら	リキプ rikip	登る
カネアン kane an	～している	ルウェネ ruwe ne	のだ
クス kusu	ので、から、ために	ワ wa	～して
ケシトアンコ kes to an ko	毎日	ワッカタ wakkata	水くみする

静内地方の旧地名



佐妻(さめ)村

現在の西川の旧名です。

明治4年から42年までは村名として、明治42年から昭和9年まで大字名として使われていました。

地名の由来は、「その昔、津浪の時にサメがこの場所まで打ち上げられたため」と言われていますが、詳細は不明です。

本文

- 1 シルクンネ コンノ ワッカ アセ ワ
sirkunne konno wakka a=se wa
日が暮れると 水を 私は運んで来て
- 2 フチ オッタ アルキアン コンノ
huci or ta arki=an konno
祖母の所に 私が来る と
- 3 アコロ フチ イコイルシカ カネ アン コロカ
a=kor huci i=koiruska kane an korka
私の祖母は 私を叱っ ていた けれど
- 4 ケシト アン コンノ スケ。
kes to an konno suke.
毎日 炊事をした。
- 5 タネ ポロ オペレ ネ オカアン
tane poro oper ne oka=an
もう 一人前の女の子に 私はなった
- 6 ルウェネ アワ
ruwe ne awa
のだった が
- 7 アコロ フチ イルシカ ハウエ
a=kor huci iruska hawe
私の祖母が 腹を立てた ことは
- 8 「タネ アナクン オンネアン ワ タネ
“tane anakun onne=an wa tane
「今はもう 私は年をとって もう
- 9 エアニ ワッカタ ソモ エキ ヤクン
eani wakkata somo e=ki yakun
おまえが 水くみを しなかつ たら
- 10 イペアン カ アネアイカブ (=アンエアイカブ)
ipe=an ka an=eaykap
私たちは食事 も できない
- 11 ルウェネ クス」 アリアンペ アコロ フチ
ruwe ne kusu” ari an pe a=kor huci
の だ から」 ということ を 私の祖母が
- 12 イエカネ アン コロカ トランネアン マ
ye kane an korka toranne=an ma
言っていた けれども 私は怠け て
- 13 ワッカタアン カ ソモ キ ノ オカアン。
wakkata=an ka somo ki no oka=an.
私は水くみ も しな い で いました。

アイヌ語の解説

朝水くみにでかけた女の子は一日中川に写った着物姿をながめていて日が暮れるころにやっと水をくんで家に帰ります。おばあさんは「おまえが水くみしなかったら食事を作ることも食べる事もできない」と怒り、女の子の行く末を心配しますが、女の子には伝わりません。

レッスン48でも説明しましたが、単数形と複数形をもつ自動詞の後ろに人称接辞 アン=an がつく場合、主語が「私」ひとりであっても、アルキアン arki=an (2行目)、オカアン oka=an (5、13行目) というように複数形が使われます。

単語

アイヌ語	日本語訳	アイヌ語	日本語訳
ア	a=	ケシト アン コンノ	kes to an konno 毎日
アナクン	anakun	コイルシカ	koiruska を叱る
アネアイカブ → アン+エアイカブ		コロ	kor を持つ
アリアンペ	ari an pe	コロカ	korka けれど、けれども
アルキ	arki	コンノ	konno ~ (する)と
アワ	awa	シルクンネ	sirkunne 日が暮れる、暗くなる
アン	an	スケ	suke 炊事する、煮炊きする
アン	an=	セ	se 背負う、運んで来る、運んで行く
イ	i=	ソモ キ	somo ki ~しない
イエ	ye	タネ	tane 今、今や、もう
イペ	ipe	トランネ	toranne 怠ける
イルシカ	iruska	ネ	ne ~として
エ	e=	ノ	no ~ (しない)で
エアイカブ	eaykap	ハウエ	hawe ことは
エアニ	eani	フチ	huci おばあさん、祖母
オカ	oka	ポロ	poro 大きい、大きくなる
オッタ	or ta	マ	ma ~て
オペレ	oper	ヤクン	yakun ~したら
オンネ	onne	ルウェネ	ruwe ne のだ
カ	ka	ワ	wa ~して
カネ	kane	ワッカ	wakka 水
カネ アン	kane an	ワッカタ	wakkata 水くみする
クス	kusu		

静内地方の
旧地名

門別 (もんべつ) 村

現在の東静内の旧名です。

この地名は、モベツ (静かな川) に由来していると思われませんが、静内川のシベツ (本川) に対するモベツ (小さな川) であるという説もあります。

本文

1 シルクンネ コンノ エアシリ ワッカ アセ ワ
sirkunne konno easir wakka a=se wa
日が暮れる と やつと水を 運んで来て

2 アルキアン カネ オカアン アブ
arki=an kane oka=an ap
来 ていたのでした が

3 シネアント タ スイ ペッオッタ
sinean to ta suy pet or ta
ある 日 に また 川 に

4 サプアン イネ ヤイクヌカラアン。
sap=an ine yaykunnukar=an.
私は下がって 自分の姿を見た。

5 シノツアン カネ オカアン アイネ
sinot=an kane oka=an ayne
私は遊ん でいた あげく

6 アルキアン アクス
arki=an akus
私が (帰って) 来る と

7 アコロ フチ オンネ ワ イサム
a=kor huci onne wa isam
私の祖母は 死ん でしまっていた

8 オカケタ エアシリ ヤイヌアン。
okaketa easir yaynu=an.
そのあとで はじめて 私は思った。

9 「ネプクス エネアン イキ アキ ワ
“nepkus ene an iki a=ki wa
「どうして あんな 行いを 私はして

10 アコロ フチ アオンネカ、
a=kor huci a=onneka,
私の祖母を 私は死なせ、

11 ワッカ カ アクレ カソモ キワ
wakka ka a=kure ka somo ki wa
水 も 私は飲ませもしない で

12 アオンネカ ルウェ エネ アニ アン」
a=onneka ruwe ene an hi an”
私は死なせた なんて」

13 アリ ヤイヌアン。
ari yaynu=an.
と 私は思った。

アイヌ語の解説

あいかわらず、日が暮れてやつと水を運ぶような状態でいたある日、水くみから戻ると祖母は死んでしまっていて、このとき初めて女の子は自分の行いを後悔します。こうなるまで祖母に孝行していなかったことが分からなかった女の子。このあとどうなるのでしょうか。

主語が「私」ひとりであっても、人称をアンで示すときは、アルキアン arki=an、オカアン oka=an、サプアン sap=an というように動詞の複数形が使われます。

単語

アイヌ語	日本語訳	アイヌ語	日本語訳
ア	a= (物語中で) 私が	コロ	kor を持つ
アイネ	ayne ~したあげく	コンノ	konno ~ (する) と
アクス	akus ~ (する) と	サプ	sap 下がる、(山手から浜手へ) 行く
アブ	ap ~したが	シネアン	sinean ある~
アリ	ari と (言う、思う)	シノツ	sinot 遊ぶ
アルキ	arki 来る	シルクンネ	sirkunne 日が暮れる、暗くなる
アン	an いる、ある	スイ	suy また
アン	an= (物語中で) 私は	セ	se 背負う、運んで来る、運んで行く
イキ	iki する、行う	タ	ta ~で、~に
イネ	ine ~して (そして)	ト	to 日
エアシリ	easir ~してはじめて、~してやつと	ネプクス	nepkus どうして、何故
エネアン	ene an あんな、こんな	フチ	huci おばあさん、祖母
オカケタ	okaketa そのあとで	ペッ	pet 川
オッタ	or ta ~に	ヤイクヌカラ	yaykunnukar 自分の姿を見る
オンネ	onne 年をとる、年老いて死ぬ	ヤイヌ	yaynu 思う
オンネカ	onneka を死なせる	ルウェ エネ アニ アン	ruwe ene an hi an ~するなんて
カソモキ	ka somo ki ~もしない	ワ	wa ~して
カ	ka も	ワイサム	wa isam ~してしまう
カネ オカ	kane oka ~している	ワッカ	wakka 水
カネ オカ	kane oka ~している		
キ	ki をする		
クレ	kure に~を飲ませる		

MEMO

静内地方の旧地名



遠別 (とおべつ) 村

現在の東別の旧名です。

地名の由来は、トイ・ペツ (食土・川) であるという説もありますが、詳細は不明です。

昭和9年に現在の東別になりました。

本文

- 1 チシアン カネ オカアン ルウェネ アワ
cis=an kane oka=an ruwe ne awa
私は泣いて いた のです が
- 2 ネブカムイ イキ ハウエ エンタ か
nepkamuy iki hawe enta KA
何の神様が する の か
- 3 「アリ フチ エキマイパ ワ
“ari huci e=kimaypa wa
「このように 祖母に おまえが孝行しないで
- 4 エイキ プ ネ クス
e=iki p ne kusu
おまえがした の だ から
- 5 エソクソキ ネ アネカラ ワ
esoksoki ne an=e=kar wa
アカゲラ に 私が おまえをして
- 6 ワッカ カ エク カ エアイカブ
wakka ka e=ku ka eaykap
水 も おまえは飲 めなくなる
- 7 ナンコン ナ。 アネパカシヌ。
nankor na. an=e=pakasnu.
のだぞ。 私が おまえを懲らしめる。
- 8 エラムアン」 アリ ハウキ。
eramuan!” ari hawki.
思い知れ」 と 言いました。
- 9 ネブカムイ ネ ハウエ ネ ヤ
nepkamuy ne hawe ne ya
何の神様 な の か
- 10 イパカシヌ ルウェネ
i=pakasnu ruwe ne
私を懲らしめる のだ
- 11 クス イエ カネ ハウキ アクス
kus ye kane hawki akus
と 言い ながら 言う と
- 12 オウンノ エソクソキ ネ オカアン
ounno esoksoki ne oka=an
それから アカゲラ に 私はなった
- 13 ルウェ エシタ アン ネ
ruwe esta an ne
のですよ。
- 14 アリ ゆったて。
ari YUTTAATE.
と (女の子が) ゆったという。

アイヌ語の解説

女の子が孝行しないでいた罰にアカゲラにされてしまう場面です。女の子が木にのぼって川にうつる自分の着物姿を見ている様子、アカゲラが水辺の木に止まっている様子が重なります。『アイヌの鳥』（アイヌ民族博物館）によると、「この鳥をむやみに獲ったり、殺したりするものでないという伝承もある。もし、この鳥を殺した男がいたら、その男は着るものに恵まれなくて、一生ボロボロの着物しか着れなくなる」（静内町の葛野辰次郎さん談）といわれています。

アネ an=e= はレッスン44のように受身表現にも使われますが、このレッスンでは「私がおまえを」を表わす人称接辞として使われています。

この話全体は、最後に「と女の子がゆった」と締めくくられ、物語自体が長い引用文になっています。そのため、主人公を示す「私が」は、1人称のク ku=ではなく、チシアン cis=an、オカアン oka=anのように4人称のアン=an（他動詞の場合は、ア a=あるいはアン an=）が使われ、「私を」は、エン en=ではなく、イパカシヌ i=pakasnu のように、イ i= が使われています。

単語

アイヌ語	日本語訳	アイヌ語	日本語訳	
アクス	akus	クス	kus	と(言う)
アネ	an=e=	チシ	cis	泣く
アリ	ari	ナンコン ナ	nankor na	～だろうよ、～しなさい
アリ	ari	ネ	ne	は～である、は～だ、 ～になる
アワ	awa	ネ	ne	～として
アン	=an	ネブカムイ	nepkamuy	何神、何の神
イ	i=	ハウエ エンタ	hawe enta	～のか
イエ	ye	ハウエネ	hawe ne	のだ
イキ	iki	ハウキ	hawki	言う
エ	e=	パカシヌ	pakasnu	を懲らしめる
エアイカブ	eaykap	フチ	huci	おばあさん、祖母
エソクソキ	esoksoki	プ	p	～もの
エラムアン	eramuan	プ ネクス	p ne kusu	のだから
オウンノ	ounno	ヤ	ya	か
オカ	oka	ルウェ	ruwe	こと、の
カ	ka	ルウェネ	ruwe ne	のだ
カネ	kane	ルウェ エシタ アン ネ	ruwe esta an ne	のですよ
カネ オカ	kane oka	ワ	wa	～して
カラ	kar	ワッカ	wakka	水
キマイパ	kimaypa			
ク	ku			

静内地方の
旧地名

静内(しずない)

静内の地名は、元静内沢のアイヌ語地名に由来していると言われてはいますが、いろいろな説があります。シュツツナイ(麓を流れる沢)という説とシフチナイ(曾祖母の沢)などがよく聞かれます。

他の人の発言を直接引用する場合、日本語では、そっくりそのまま引用しますが、アイヌ語では、2人称、3人称、4人称はそのまま、1人称だけを4人称に変えて引用しなければなりません。

そのために、主人公が体験を語るスタイルになっている物語では、下記の表の右の人称代名詞 アノカ anoka や人称接辞 ア(ン) a(n)=、アン =an、イ i= が使われます。

	他の人の発言 (1人称)	他の人の発言の引用 (4人称)
「私」	クアニ kuani	アノカ anoka
「私達」	チオカ cioka	アノカ anoka
「私が」	ク ku=	ア(ン)、アン a(n)=,=an
「私達が」	チ、アシ ci=,=as	ア(ン)、アン a(n)=,=an
「私を」	エン en=	イ i=
「私達を」	ウン un=	イ i=

祖母の発言 : 「タネ クオンネ。」 “tane ku=onne” 「もう私は年老いた」

祖母の発言の引用: 「『タネ オンネアン。』 “‘tane onne=an’ 「『もう私は年老いた』
アリ フチ ハウキ。」 ari huci hawki.” と祖母が言った。」



例題

次の文章は引用された文章です。実際の発言に戻しましょう。()内の番号はレッスン番号と行番号です。

1 ニナアン カネ オカアン。(47-14)

nina=an kane oka=an
私は焚き木とりをして いました。

答え:

2 アミプ サンケ ワ イミレ。(48-8)

amip sanke wa i=mire.
着物を出して 私に着せた。

答え:

3 ペツ オッタ サプアン。(48-10)

pet or ta sap=an
川に 私は下りた。

答え:

4 アコロ フチ イコイルシカ。(49-3)

a=kor huci i=koiruska.
私の 祖母が 私を叱った。

答え:

5 エアニ ワッカタ ソモ エキ ヤクン(49-9)

eani wakkata somo e=ki yakun
おまえが 水くみを しなかつ たら

答え:

6 ワッカ アセ ワ アルキアン。(50-1)

wakka a=se wa arki=an.
水を 私は背負つ て 私は来た。

答え:

※答えは37ページにあります。

単語表 平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキストに掲載した単語です。()内の数字は掲載したレッスン番号です。

ア a **た**。 ※特に、「話題になっている時点より以前に起こったこと」とか、「その時点ですでに起こっていること」を表したい場合に使う。

ア a= **(相手を含む)私達が、一般に人が、(物語中で)私(達)が、(引用文中で)私(達)が。** ※他動詞の前につく人称接辞。アン an=の形で現れることもある。(16) アヌ。(17) (40) (41) (43) アエ。(39) アキシマ。(40) (43) アカラ。(43) アオ。(43) アオツケ。(43) アコポイエ。(43) アホツケレ。(44) アイエ。(47) アネ。(47) アココ。(48) アミ。(49) (50) アセ。(50) アキ。アオンネカ。アクレ。

ア a= **(相手を含む)私達の、一般に人の、(物語中で)私(達)の、(引用文中で)私(達)の。** ※名詞の前につく人称接辞。アン an=の形で現れることもある。(48) アトゥママハ。

～ア ～ア ～ a ～ a **～して～して～し続ける。**

アイ →アン an= ※サ行音の前でアン an=がアイと発音されたもの。(44) アイシトマ。

アイヌ aynu **人。**

アイネ ayne **～したあげく。**

アウ aw **隣。**

アウ エネ アニ aw ene an i **(言った)ことはこうだ。** ※あとに引用文を導く表現。アウエ エネ アニ awe ene an i、ハウエ エネ アニ hawe ene an i と発音されることもある。

アエン a=en= **私は～される。** ※受身表現。(44) アエンコイルシカ。私は叱られた。

アカイエ →アックak+アイエa=ye **～だそうだと。** ※ヤカイエ yak a=ye と発音されることもある。

アカナク akanak **～したなら。**

アク ak **～と(言う)。** ※伝聞。

アクス akus **～(する)と。** ※あとに予期しない事柄がくる。文と文をつなぐ働きをもつ。

アッ =as **私たちは。** ※人称接辞。自動詞の後ろにつく。(18) トイタッ。(38) ウコイタクアッ。(38) オカアッ。

アッ as **立つ。** ※自動詞。単数形。複数形はロシキ roski。(20) アイヌ アッワアン。人が立っていた。

アチャポ acapo **おじさん。**

アナク anak **～は。**

アナクン anakun **～は。**

アニ an= **(物語中で/引用文中で)私は～される。**(48) アニミシ。

アネ an=e= **私がおまえを、おまえが～される。** ※受身表現の場合もある。(44) アネシケレ。(51) アネカラ。(51) アネパカッヌ。

アネアイカフ →アン+エアイカフ

アネラムリテン →アン+エラムリテン

アッ ap **～したが。** ※文と文をつなぐ働きをもつ。

アッカッ apkas **歩く。** ※自動詞。(21) クアッカッ カ ヌクリ。私は歩けない。

アペ ape **火、いろり。**

アマム amam **穀物、ご飯。**

アミフ amip **着物。**

アリ ari **このように。** ※動詞の前に置かれ、しづさを伴っての説明。

アリ ari **で(もって)。** ※名詞の後に置かれて手段を示す。

アリ ari **と(言う、思う)。** ※引用。

アリ アン ベ ari an pe **ということ(を言う、を思う)。** ※引用。後にくる他動詞の目的語となる。

アルキ arki **来る。** ※自動詞。複数形。単数形は エックek。(19) オッカイボ ウタラ アルキ。若者たちが来た。(30) ヘンバラ エチアルキ?いつあなた達は来たの?(49) フチ オッタ アルキアン。祖母の所に(物語中で)私は来た。

アルスイ arsusy **一回。**

アワ awa **～したが。**

アン an **いる、ある。** ※自動詞。単数形。複数形はオカ oka。(3) クアニ クアン。私はいます。(43) オンタロ オシケ タ アン。樽の中にある。

アン an **になる。** ※自動詞。時を表わす語のあとに置かれる。(43) バイカラ アン。春になる。

アン an= **不定の人が、(相手を含む)私達が、(引用文中で)私(達)が、(物語中で)私(達)が。** ※他動詞の前につく人称接辞。後にサ行音が続くとアイと発音されることもある。(27) アヌコシナ。(42) アンエ。(48) アンヌカラ。(48) アネラムリテン。(49) アネアイカフ。

アン =an **(相手を含む)私達が、(物語中で)私(達)が。** ※自動詞の後ろにつく人称接辞。(17) (49) イベアン。(17) トウムココアン。(43) 大豆スパアン。(47) (48) (49) (51) オカアン。(47) (48) (49) ムッカタアン。(47) ニナアン。(48) (49) オンネアン。(48) (50) サッアン。(48) リキアアン。(49) (50) アルキアン。(49) トランネアン。(50) シノツァン。(50) ヤイヌアン。(51) チッアッ。

イ i= **(相手を含む)私達を、(引用文中で)私(達)を、(物語中で)私(達)を。** ※他動詞の前につく人称接辞。(47) イレス。(47) イエバカッヌ。(48) イミシ。(49) イコイルシカ。(51) イバカッヌ。

イ i～するとき、～すること。 ※ヒ hi と発音されることもある。

イエ ye **言う、に言う。** ※他動詞。(47) フチ イエ。祖母が言う。(48) 「…」アリアンベ アイエ。「…」ということ(を(物語中で)私は言った。(51) イバカッヌ ルウェネ クス イエ カネ。(物語中で)私を罰すると言いながら。

イキ iki **する、行う。** ※自動詞。名詞としてつかわれた場合は「行い」。(47) ネコン イキ ワ。どのようにして。(50) エネ アンイキ。あんな行い。

イキマイバ ikimaypa **(親)不孝する。** ※自動詞。他動詞はキマイバkimaypa。(25) イテツケ イキマイバ。(親)不孝するな。

イク iku **を飲む。** ※自動詞。(16) サケカル ワ イク。酒をつくって飲む。

イケ ike **のを、のに。** ※ヒケ hike と発音されることもある。文と文をつなぐ働きをもつ。

イケカ ikeka **のに。** ※ヒケカ hikeka と発音されることもある。文と文をつなぐ働きをもつ。

イケスイ icesuy **怒って出て行く。** ※自動詞。(37) チッ カネ イケスイ。泣きながら怒って出て行った。

イコベツカ ikopepka **体験談、言い伝え。** ※自動詞。

イサム isam **無い。** ※自動詞。(50) オンネ ワ イサム。死んでしまった。

イタク itak **言葉。** ※自動詞の場合「話す」「しゃべる」。

イチャツケレ icakkere **きたないなあ。**

イテツケ itekke **するな。** ※禁止。

イヌ inu **聞く、耳を傾ける、耳に入る。** ※自動詞。(16) チカノ ネノイネ イヌアン。鳥のように聞こえた。

イネ ine **～して(そして)。** ※ヒネ hine と発音されることもある。

イペ ipe **食事する。** ※自動詞。(16) ポロンノ イペ。たくさん食べなさい。(17) ヘタク イベアン ロ。さあ食事をしましょう。

イペエマカ ipeemaka **食べたがらない。** ※自動詞。(44) イペエマカ アナク アシトマ ャ ネ。食べ物の好き嫌いは恐ろしいものだ。

イペレ ipere **食べさせる。** ※他動詞。(10) イペレ カ ソモ エキ。食べさせることも あなたはしない。

イヤイクピテ iyaykipte **あぶない。**

イルシカ iruska **腹を立てる。** ※自動詞。他動詞はルシカruska、コイルシカkoiruska。(48) アコロ フチ イルシカ。(物語中で)私の祖母が腹を立てた。

インカル inkar **目を向ける、視線をやる** ※自動詞。インカラと表記されることもある。(16) インカル シリ クヌカル。目を向けるのを私は見た。

ウコイタク ukoitak **おしゃべりする。** ※自動詞。(38) ウコイタクアッ カネ オカアッ。私達は話し合っていました。

ウコシナ ukosina **まとめて縛る。** ※他動詞。(27) トウン レン アヌコシナ。2、3人あわせる。

ウサ usa **あれこれ、いろいろ。**

ウサ キ usa ki **～したりする。**

ウタラ utar **～たち。**

ウパクノ upakno **同じくらいに。**

ウツシ upsi **うつ伏せになる。** ※自動詞。(37) チシ コロ ウツシ ワ イサム。泣きながらうつ伏せしてしまった。

ウン un= **私たちを。** ※人称接辞。他動詞の前につく。

ウン un **～へ。** ※位置名詞の後に置かれる。(18) ウンモンソ。

エ e= **あなたは、あなたが、おまえは、おまえが。** ※動詞の前につく人称接辞。 ※日本語には「あなた/君/おまえ」と色々な言い方がありますが、アイヌ語にはそういう区別がなく全てエ e=で示します。敬称の「あなた様」は4人称で表わします。(4) エヌカラ。(4) (15) エオマン。(5) (47) エアン。(5) エサン。(9) (31) (35) エエク。(10) (47) (49) エキ。(10) エヌ。(11) エメライケ。(24) (44) エポロ。(34) エソイエネ。(44) (51) エイキ。(44) エエ。(44) エエチャツケ。(51) エキマイバ。(51) エク。

エ e= **あなたを、あなたに、おまえを、おまえに。** ※他動詞の前につく人称接辞。(15) エヌカル。(15) エオシツコテ。(15) エセ。

エ e= **あなたの。** ※名詞(所属形)の前につく人称接辞。(25) エハウエ。(31) エオルシペ。

エ e **を食べる。** ※他動詞。(2) シト クエ ルスイ。団子を私は食べたい。(40) みぞルル エ エアツカイ。味噌汁を食べることが出来る。(41) クエ エマカ。私は食べるのを嫌がった。(41) アエ フミ ピリカ。食べた感じが良い。(42) みぞ アリ アイェッアンエ。味噌というものを(引用文中で)私は食べた。(44) ルル カ エエ カ ソモ キ。汁物をおまえは食べもしない。

エアイカフ eaykap **～できない。** ※他動詞としても助動詞としても使われる。助動詞として使う場合は動詞の後ろに置かれる。

エアツカイ easkay **～できる。** ※他動詞としても助動詞としても使われる。助動詞として使う場合は動詞の後に置かれる。

エアシリ easir **～してはじめて、～してやっと。**

エアニ eani **あなた。** ※人称代名詞。

エカシ ekasi **おじいさん。** ※血縁関係があってもなくても使える。

エク ek **来る。** ※自動詞単数形。複数形はアルキ arki。(9) ソモ エエク。あなたは来なかった。(21) アイヌ エク コロ アン。人が来ている(最中だ)。(21) エック カ コヤイクス。(状況的に)来ることができない。(31) ネットクス エネ トウナッノ エエク ハウエタアン?どうしてこんなに早くあなたは来たのですか。(33) エク ナンココ、ソモ ナンココ。来るだろう来ないだろう※占う言葉。(35) オノン エエック ルウェ タ アン?どこからあなたは来たのですか?(35) アイヌ コタン ワ エク。人間の村から彼は来た。

エクスコンナ ekuskonna **突然。**

エソックス esoksoki **アカゲラ。**

エチ eci= **あなた達が、あなた達は、あなた達を。** ※人称接辞。動詞の前につく (19) エチキラ。(19) エチカスイ。(30) エチアルキ。(32) エチオカ。

エチオカ ecioka **あなた達。** ※人称代名詞。

エチャツケ eackke **をきたながる。** ※他動詞。(44) エエチャツケ。おまえはきたながる。

エトランネ etoranne **～が嫌だ、～するのは気が進まない。** ※他動詞。(40) その ルル アナクエトランネ。その汁は私は嫌だ。

エネ ene **このように。**

エネ アン ene an **あんな、こんな。**

エネマカ en=emaka → エン+エマカ

エノン enon **どこへ。** ※疑問詞。

エバカッヌ epakasnu **に～を教える。** ※教える事柄と教える相手の2つの目的語をとる他動詞。(47) アコロ フチ イエバカッヌ。(物語中で)私の祖母が私に教えた。

エマカ emaka **を嫌がる、を嫌う。** ※クエ エマカのように動詞の後ろに位置して助動詞としても使われる。(14) エネマカ、エネマカ。私を嫌い、私を嫌い。(41) クエ エマカ。私は嫌がった。

エラムアン eramuan **が分かる、を覚えている。** ※他動詞。単数形。複数形はエラムオカeramuoka。(44) エラムアン。覚えなさい。

エラムトゥイ eramutuy **驚く。** ※他動詞。(20) クエラムトゥイ。私はそのことに驚いた。

エラムリテン eramuriten **を喜ぶ。** ※他動詞。(48) アネラムリテン カネ オカアン。(物語中で)私はそのことを喜んでいた。

エン en= **私を、私に。** ※人称接辞。他動詞の前につく。

オ o **～に～を入れる。** ※入れる物と入れる所のふたつの目的語をとる他動詞。(42) ルルカラ コオンノ ネアンベ オ。汁を作るとそれを入れた。(43) ルル オシケ アオ ワ エ ャネ ワ。(一般に)汁の中に入れて食べるものだ。

オウンノ ounno **それから。**

オカ oka **いる。** ※自動詞。複数形。単数形はアン an。(13) ヤイトゥパレ ワ オカ ヤン。気をつけてお過ごしください。(32) ヘンパット エチオカ?幾日あなた達はいますか?(32) トウッコレルコ オカアン。2、3日、私達はいます。(39) アイヌ ロク ワ オカ。人が座っている。(47) オカアン。(物語中で)私達は暮らしていた。(48) ケット アン コ オカアン。毎日(物語中で)私はいた。

オカケタ okaketa **そのあとで。**

オカリ okari **のまわりに。**

オシケ oske **の中。** ※位置名詞。

オシツコテ osikkote **に惚れる。** ※他動詞。(15) カンナ カムイ エオシツコテ。雷神があなたに惚れた。

オソマ osoma **うんち。**

オチャンペラク ocanperak **水っぼい。** ※自動詞

オッカイネボ okkaynepo **息子。**

オッカイボ okkaypo **若者。**

オツケ otke **を突く。** ※他動詞。(43) ニス オルン アオツケ アオツケ アフ。臼に向って(一般に)突いて突いて突きつけて。

オッタ ot ta **～に。** ※オロ ta or ta が発音していくのでオッタと発音したもの。普通名詞の後はオッタ or ta が、位置名詞の後にはタ ta が置かれる。

オノン onon **どこから。**

オペレ oper **女の子。**

オマナン omanan **歩き回る。** ※自動詞。単数形。複数形はパイェカpayeka。(22) ネットカクホックスクオマン。何か私は買うために歩き回った。

オマン oman **行く。** ※自動詞。単数形。複数形はパイェ paye。(4) ソイ タ エオマン?外にあなたは行った?(22) シネウエ クスアウ タ クオマン。訪問するために私は隣に行った。(9) タントアナク ソモ クオマン。今日は私は行きません。(12) ナイ オッタ オマン。沢に行った。(13) ヤイトゥパレ ワ オマン。気をつけて行きなさい。(22) クヌカン ルスイ クス クオマン。私は会いに来たので行っった。

オルシペ oruspe **話。** ※所属形の短形。概念形と同じ形。

オルン or un **～へ、～のところへ。** ※オルン or un と オレン or en の使い分けは不詳。

オレン or en **～へ、～のところへ。** ※オルン or un と オレン or en の使い分けは不詳。

オロ or **のところ。** ※位置名詞。

オロワ or wa **～から。** ※普通名詞の後に置かれる。

オロワ orowa **それから。**

オンタロ ontaro **樽。**

オンネ onne **年をとる、年老いて死ぬ。** ※自動詞。(48) タネ オンネアン。もう(引用文中で)私は年老いた。(50) アコロ フ

チ オンネ ワ イサム。(物語中で)私の祖母は年老いて死んでしまった。

オンネカ onneka **を死なせる**。※他動詞。(50)アコロ フチ アオンネカ。(物語中で)私の祖母を私は死なせた。

カ ka **も**。※～カソノネ～ではない。～カソモキ～もしない。

カ ka **の上**。

カスイ kasuy **を手伝う**。※他動詞。(19)オッカイポ ウタラ アルキワ エチカスイ。若者たちが来てあなた達を手伝う。

カスプ kasup **しゃもじ(しゃくし)、お玉**。

カッケマツ katkemat **婦人、大人の女性**。

カネ kane **ながら**。※2つの動作の同時進行を表わす。

カネ アン kane an **～している**。※主語が単数で、動作がずっと続いていることを表わす。(28)ヤイコランケ カネ アン。ひとりで流している。(38)クチシ カネ クアン。私は泣いている。(48)イルシカ カネ アン。腹を立てている。(49)イコイルシカ カネ アン。(物語中で)私を叱っていた。(49)イエ カネ アン。言っていた。

カネ オカ kane oka **～している**。※主語が複数で、動作がずっと続いていることを表わす。ただし、引用文中や物語中ではオカアン oka=anでも主語が単数の場合もある。(38)ウコイツクアツカネ オカアシ。(相手を含まない)私達は話し合っていた。(38)チヌカネ オカアシ。(相手を含まない)私達は聞いていた。(47)ポンマツカチ アネ カネ オカアン。幼い女の子に私達はなっていた。(47)イエバカヌカネ オカアン。私に教えていた。(47)ニナアン カネ オカアン。(物語中で)私は焚き木とりにしていた。(50)アルキアン カネ オカアン。(物語中で)私は来ていた。(50)シノッアン カネ オカアン。(物語中で)私は遊んでいた。

カムタチ kamtaci **麴(こうじ)**。

カラ kar **を作る、(山菜)を採る**。※他動詞。(12)ボン トウナ カラ。小さな火棚を作った。(40)ケラアン ルル アカラ。おいしい汁を(引用文中で)私が作る。(41)シサム ニシバ ウタラ カラ。和人の旦那達を作った。(43)タクフ アカラ。その塊を(一般に人が)作った。(47)ラタンケツ エネ アカラ。山菜をこのように(一般に人が)採る。(51)エンッソキ ネ アネカラ。私はおまえをオアカゲラにする。

カンナ カムイ kanna kamuy **雷神**。

キ ki **をずる**。※他動詞。(47)ワッカタ ネヤッカ ニナ ネヤッカ エキ ナンコンナ。水くみでも焚き木とりでもおまえがやりなさい。(49)ワッカタ ソモ エキ ヤクン。水くみをおまえがしなかったら。(50)ネックス エネ アン イキ アキワ。どうしてあんな行いを(物語中で)私はして。

キク kik **を叩く**。※他動詞。(14)ハポ カスフ アリ エンキク。母がしゃもじで私を叩いた。

キツマ kisma **をつかむ**。※他動詞。(25)イテツケ チツ パルル キツマ。舟のへりをつかむな。(39)ネア チカフ アキシマ ワ アン。その鳥を(物語中で)私がつかんでいた。

キマイバ kimaypa **に孝行しない**。※他動詞。自動詞はイキマイバ ikimaypa。(51)アリ フチ エキマイバ。こうやって祖母におまえが孝行しなかった。

キラ kira **逃げる**。※自動詞。(19)エチオカ エチキラ ヤク ピリカナ。あなた達は逃げなさい。

ク ku= **私は、私が**。※男女に関わりなく使える。日本語には「私/僕/俺」と色々な言い方ががあるが、アイヌ語にはそういう区別がない。※人称接辞、動詞の前につく。(1)クヌカン。(2)クエ。(3)クヤイヌ。(3)クアン。(8)クコル。(9)クオマン。(11)クメライケ。(14)クネ。(16)クヌカル。(20)クヘブニ。(20)クエラムトウイ。(21)クアッカシ。(21)クケマパセ。(22)クヌカン。(22)クオマン。(22)クホッ。(22)クオマナン。(30)クエク。(30)クアン。(31)クヌ。(38)クチシ。(40)クエトランネ。(40)クハウキ。(40)クバスイエスイエ。(41)クシトマ。(41)クエ。(42)クエマカ。

ク ku= **私の**。※名詞のまえにつく人称接辞。(42)クマタキ。**ク** ku **を飲む**。※他動詞。(16)ワッカ ク ルスイ。水が飲みたい。(51)ワッカ カ エク カ エアイカフ ナンコン ナ。水を飲むこともできなくなるだろうよ。

クアニ kuani **私**。※人称代名詞。

クス kus **と(言う)**。

クス kus **ので、から、ために**。※理由、目的。

クス kusu **ので、から、ために**。※理由、目的。

クニ kuni **～する(べき)こと**。

クレ kure **に～を飲ませる**。※飲ませる相手と物の2つを目的語にとる他動詞。(50)ワッカ カ アクレ カ ソモ キ。(物語中で)私は水も飲ませもしなかった。

クンネ kunne **黒い**。※自動詞。

クン pe kun **～するはずの者**。

ケシ kes **毎～**。

ケット kes **毎日**。

ケット アン kes to an ko **毎日**。※ケットkes to ケットアン コロ kes to an kor ケット アン コンノ kes to an konno ともいう。

ケット アン コンノ kes to an konno **毎日**。

ケマパセ kemapase **足が不自由だ**。※自動詞。(21)ケマパセ ワ クアッカシカ ヌクリ。私は足が不自由で歩くことができない。

ケム kem **針**。

ケメイキ kemeyki **裁縫する**。※自動詞。(25)イテツケ ケメイキノ ボンノ シニ ヤン。裁縫しないで少し休みなさい。

ケラアン keraan **おいしい**。※自動詞。(24)ピットク ラタンケツケラアン フミ。オオハナウドのラタンケツは美味しいなあ。(40)ケラアン ルル。おいしいお汁。(41)ケラアン ベ ネ。おいしいものだ。

ケラ ウェン kera wen **まずい**。※自動詞。

ケラ サク kera sak **味が無い**。※自動詞。

コイキ koyki **とる**。※他動詞。

コイルシカ koiruska **を叱る**。※他動詞。(44)アエンコイルシカ。私は叱られた。(49)アコロ フチ イコイルシカ。(物語中で)私の祖母が私を叱った。

コオンノ koonno **～すると**。※コンノkonnoと発音されることもある。文と文をつなが働きをもつ。

コシッケルル kosikkeruru **にらむ**。※他動詞 (17)シッケシ アリイコシッケルル。彼は目の端で(相手を含む)私達を睨んだ。

コタン kotan **村、集落**。

コポイエ kopoye **～に～を加える**。※加えるものと加える場所の2つの目的語をとる他動詞。(43)カムタチ シッポ アコポイエ。麴と塩を加えた。

コヤイクス koyaykus **～できない**。

コラチ koraci **～のように**。

コル kor **を持つ**。※他動詞。コロと表記されることもある。ネン コル ベ タ アン?だれの持ち物ですか?クコル ベ ネ。私の物です。

コロ kor **を持つ**。※他動詞。コルと表記されることもある。

コロ kor **ながら、～で**。※2つの動作の同時進行を表わす。

コロ アン kor an **～している**。※主語が単数で、動作がずっと続いていることを表わす。(21)エッ コロ アン。来ている。(38)モム コロ アン。流れている。

コロカ korka **けれど、けれども**。※逆接、文と文をつなが働きをもつ。

コンノ konno **～(する)と**。※あとに予期される事柄がくる。文と文をつなが働きをもつ。コオンノと発音されることもある。

サケカル sakekar **酒を作る**。※自動詞。(16)サケカル ワ イク。酒をつくって飲む。

サツ sat **乾く**。※自動詞。(43)サツ コオンノ ニス オルン アオツケ。乾くと臼へ突いた。

サフ sap **下がる、(山手から浜手へ)行く**。※自動詞。複数形。単数形はサンsan。(48)ベツ オッタ サアアン。川に私は行っ

た。

サボ sapo **姉、姉さん**。※血縁関係があってもなくても使える。**サン** san **下がる、(山手から浜手へ)行く**。※自動詞。単数形。複数形はサフsap。(5)エアニ ホシキノ エサン。あなたが先に行く。

サンケ sanke **を出す**。※他動詞。(25)エハウエ イテツケ サンケ。あなたの声を出すな。(48)アミツ サンケ。着物を出した。

サンテク santek **子孫**。

シウ siw **苦い**。※自動詞。

シウニン siwnin **青い～紫色だ**。※自動詞。

シッコ sik'o **生まれる**。※自動詞。(47)ネコン イキ ワ シッコ クンペ。どのようにして生まれた者。

シケレ sikere **に運ばせる。に持たせる**。※他動詞。(44)アネシケレ。おまえが持たされた。

シサム sisam **和人**。

シッケシ sikkas **目の端**。

シッケルル sikkerru **にらみつける**。※自動詞。(15)シッケルル ワ エヌカル。睨みつけてあなたを見た。

シツチャシヌカ sitcasnuka **かたづけ**。※自動詞。(10)シツチャシヌカ カソモキ。かたづけもしない。

シッポ sippo **塩**。

シト sito **団子**。

シトマ sitoma **がおそろしい**。※他動詞。(44)イベエマカ アナツアシトマ ヌネ。食べ物好き嫌い恐ろしいものだ。

シニ sini **休む**。※自動詞。(25)ボンノ シニ ヤン。少し休みなさい。

シネ sine **ひとつの**。※数連体詞(名詞を修飾する)。

シネアン sinean **ある～**。※数連体詞(名詞を修飾する)。

シネウェ sinewe **訪問する**。※自動詞。(22)シネウェ クス アウタクオマン。訪問するために隣に私は行った。

シネト sine to **1日**。

シネン sinen **ひとり**。※人数を数える言い方。

シノツ sinot **遊ぶ**。※自動詞。(50)シノットアン カネ オカアン。(物語中で)私は遊んでいた。

シピラサ sipirasa **咲く**。※自動詞。(20)フレ ノンノ レタン ノンノ シピラサ。赤い花、白花が咲いた。

シリ siri **様子**。

シリクンネ sirkunne **日が暮れる、暗くなる**。※完全動詞。シリクンネと表記されることもある。(11)シリクンネ ワ メアン。日が暮れて寒くなった。(50)シリクンネ コンノ エアシリ ワッカ アセ。(物語中で)日が暮れるとやっと私は水を運んで来た。

シリセセク sirsesek **暑い**。※完全動詞。

シリペケレ sirpeker **夜が明ける、明るくなる**。※完全動詞。(47)シリペケレ コンノ ワッカタアン ウサ キ。(物語中で)夜が明けると私は水くみしたりした。

シリポツケ sirpopke **暖かい**。※完全動詞。

シリメアン sirmean **涼しい**。※完全動詞。

シリクンネ sirkunne **日が暮れる、暗くなる**。※完全動詞。シリクンネと表記されることもある。(49)シリクンネ コンノ ワッカ アセ。(物語中で)日が暮れると私は水を運んで来た。

スイ suy **また**。

スイエ suye **を炊く、を煮る**。※他動詞。語形から単数形だと考えられるがスパsupaとの違いは不詳。(40)アマム スイエ。ご飯を炊く。

スケ suke **炊事する、煮炊きする**。※自動詞。(49)ケット アン コンノ スケ。毎日炊事する。

スパ supa **を炊く、を煮る**。※他動詞。語形から複数形だと考えられるがスイエsuyeとの違いは不詳。(42)ニセ ワ スパ。すくって煮る。

セ se **を背負う、運んで来る、運んで行く**。※他動詞。(15)カンナカムイ エセ。雷神があなたを背負う。(49)ワッカ アセ。(物語中で)私が水を運んで来る。

セセク sesek **熱い**。※自動詞。

セタ seta **犬**。

セトゥルセセッカ setursesekka **背中あぶりする**。※自動詞。セトゥル setur「背中」、セセッカ sesekka「温める」。

ソイ soy 外。※位置名詞。

ソイエネ soyene **出かける、外へ出る**。※自動詞。単数形。複数形はソイエンパ soyenpa。

ソモ somo **～しない**。※動詞の前に置かれる。ソモ ネ ～でない。カソモネ～ではない。

ソモ ki somo **～しない**。※動詞の後ろに置かれる。

タ ta **～で、～に**。※位置名詞の後ろに置かれる。

タアン ta an **～ですか**。※疑問詞をつかった疑問文の文末。

タア koraci taa **このとおり**。

タア taa **このように**。

タアン taanpe **これ、この子**。

だいすバ DAIZUsupa **大豆を煮る**。※自動詞。日本語の「大豆」と他動詞のスパsupaが一語になって自動詞となったもの。(43)スイ 大豆スパアン。(一般に人が)また大豆を煮る。

タクフ takuhu **～のかたまり**。※所属形。概念形はタクtak。

タネ tane **今、今や、もう**。

タネ po tanepo **初めて**。

タン taane **段々**。

タント tanto **今日**。

チ ci= **私たちは**。※人称接辞。他動詞の前につく。

チエフ cep **魚**。

チカフ cikap **鳥**。

チシ cis **泣く**。※自動詞。(36)イテツケ チシ ナ。泣かないでよ。(37)チシ カネ イケスイ。泣きながら怒って出て行った。(37)チシ コロ ウツシ。泣きながらうつ伏せになった。(38)クチシ カネ クアン。私は泣いている(最中だ)。(51)チシアン カネ オカアン。(物語中で)私は泣いていた。

チフ cip **舟**。

テウンノ teunno **これから**。

ト to **日**。

トイタ toyta **畑を耕す**。※自動詞。(18)トイタアシ。私達は畑を耕す。

トゥ tu **ふたつの**。※数連体詞(名詞を修飾する)。

トゥッコ tutko **2日**。

トゥナシノ tunasno **早く**。

トゥフ tup **2匹(個、台、冊…)**。※人以外のものを数える言い方。

トゥママハ tumamaha **の体**。※所属形。概念形はトゥمامムtumamム。

トゥムコロ tumkor **力がある**。※自動詞。(17)ウパッノ トウムコロアン。私達は同じくらい力がある。

トゥラ tura **連れる**。※他動詞。(27)セタ トウフ レフトウラ イネ。犬を2、3匹連れて。

トゥン tun **2人**。※人数を数える言い方。

トオン toon **あそこ**。

トオンタ toon ta **あそこに**。

トベン topen **甘い**。※自動詞。

トランネ toranne **怠ける**。※自動詞。(49)トランネアン マ。(物語中で)私は怠けて。

ナ na **よ、ぞ、から**。※終助詞。

ナイ nay **沢**。

ナンコロ nankor **～だろう**。

ナンコノ nankor na **～だろうよ、～しなさい**。※ナンコンナとも発音。

ニ ni **木、立ち木**。

ニシバ nispa **旦那**。

ニス nisu **臼**。

ニセ nise **をすくう、をくむ**。※他動詞。(40)ハボ アリ ニセ イネ。母はこうやってすくって。(42)カスフ アリ ニセ ワ スパ。しゃもじですくって煮た。

ニナ nina **焚き木とりする**。※自動詞。(47)ワッカタ ネヤッカ ニナ ネヤッカ エキ ナンコンナ。水くみでも焚き木とりでもおまえがやりなさい。(47)ニナアン カネ オカアン。(物語中で)私は焚き木とりしていた。

ヌ nu **を聞く**。※他動詞。自動詞はイヌ inu。(10)ネア オッカイ

ポ イエ ア イタク エ=ヌ カ ソモキ。その若者の言う言葉をあなたは聞きもしない。(16) ハチル フミ アヌ。(物語中で) 落ちる音を私は聞いた。(31) ポンノ エオルシベ クヌ ルスイ。少しあなたの話を私は聞きたい。(38) フチ ウタル イエ ハウエ チヌ カネ オカアッ。祖母達のいうことを私達は聞いていました。**ヌカヲ** nukar **に会う、を見る**。※他動詞。ヌカヲと表記されることもある。自動詞はインカヲ/インカルinkar。(4) アチャボ エヌカラア?おじさんにあなたは会った?(41) オソマ ネ ポコン クヌカヲ。うんちみたいに私は見た。(48) ネアンベ アンヌカラ。(物語中で) それを私は見た。**ヌカル** nukar **に会う、を見る**。※他動詞。ヌカヲと表記されることもある。自動詞はインカル/インカヲinkar。(15) シッケルル ワ エヌカル。睨みつけてあなたを見た。(16) インカル シリ クヌカル。彼が目を向けるのを私は見た。**ヌカン** nukan **に会う、を見る**。※他動詞。「ヌカヲ/ヌカル ルスイ」が発音しにくいので「ヌカン」と発音されたもの。(1) フチ クヌカン ルスイ。祖母に私は会いたい。**ヌクリ** nukuri **〜できない**。**ヌマン** numan **昨日**。**ネ** ne **は〜である、は〜だ、〜になる**。※デアル動詞。(7) ホルケウカソモ ネ。セタ ネ ナンコロ。オオカミではない。犬だろう。(14) ムネケンナイ クネ ナ。私はムネケンナイだぞ。(16) チカッ ネ ノイネ イヌアン。鳥のように聞こえた。(18) メノコ サンテツ チネ ヤッカ。私達は女の子孫であっても。(41) アエ フミ ビリカ ッ ネ イケ。(一般に人が) 食べた感じが良いものなのに。(41) オソマ ネ ポコン クヌカラ。私はうんちみたいに見た。(43) ケラアン ペ ネ。おいしいものだ。(47) ネコン イキ ワ ショオ クンベ アネワ。どうやって生まれた者が私であって。(47) ポンマッカチ アネ。(物語中で) 私は幼い女の子になった。(47) ポン オベレ アネ。(物語中で) 私は小さい女の子になった。(51) ネッカムイネ ハウエネ ヤ。何神であるのか。**ネ** ne **〜として**。(49) タネ ポロ オベレ ネ オカアン。(物語中で) 私はもう大きな女の子になっていた。(51) エソッソキ ネ アネカヲ ワ。(引用文中で) アカゲラに私がおまえをして。(51) オウンノ エソッソキ ネ オカアン。(物語中で) それから私はアカゲラになった。**ネア** nea **その**。**ネアンベ** neanpe **それ**。**ネコン** nekon **どのように**。※疑問詞。**ネツパワタツ** neppawatap **何か**。**ネブ** nep **何**。**ネツカムイ** nepkamuy **何神、何の神**。**ネツクス** nepkus **どうして、何故**。※ネツ nep「何」クス kus「故に」で「何故」。**ネヤッカ** neyakka **〜でも**。**ネン** nen **誰**。**ノ** no **〜(しない)で**。**ノイネ** noyne **ように**。**ノンノ** nonno **花**。**パイエ** paye **行く**。※自動詞複数形。単数形はオマン oman。(34) ビリカ コタン オレン パイエアン。(相手を含む) 私達は立派な村へ行く。**バイカラ** paykar **春**。※夏はサックスak、秋はサックシsakkes、冬はマトmata。**ハウエ** hawe **声、話**。**ハウエ エタツ アン** hawe etap an **〜した話なんですよ**。※文末表現。**ハウエ エネ アニ アン** hawe ene an hi an **〜するなんて**。※文末表現。**ハウエ エンタ** hawe enta **〜のか**。**ハウエ タ アン** hawe ta an **のですか**。※疑問詞疑問文の文末表現。**ハウエ ネ** hawe ne **のだ**。※文末表現。

ハウキ hawki **言う**。※自動詞。(40)「イチャッケレ」アリ クハウキ カネ。「きたないなあ」と私は言いながら。(41) ハポ ハウキ カネ。母が言いながら。(47) (48) アコロ フチ ハウキ アウ エネ アニ。(物語中で) 私の祖母が言ったことはこうだ。(48)「ワッカタ」アリ ハウキ。「水くみなさい」と言った。(51)「エラムアン」アリ ハウキ。「思い知れ」と言った。**パカシヌ** pakasnu **を懲らしめる**。※他動詞。(51) アネパカシヌ。私がおまえを懲らしめる。(51) イパカシヌ ルウエネ クス イエカネ。(物語中で) 私を懲らしめるのだと言いながら。**パクノ** pakno **充分に、〜くらい、〜ほど**。**パスイエスイエ** pasuyesuye **頭を(横に)ふる**。※papa「頭」、スイエスイエsuyesuye「をふる」。拒否の仕草にもなる。(40) クパスイエスイエ イタ。私が(横に) 頭を振ったときに。**ハチリ** hacir **落ちる**。※自動詞。ハチリと表記されることもある。(39) ケム カ ハチリワ アン。針も落ちていた。**ハチル** hacir **落ちる**。※自動詞。ハチリと表記されることもある。(16) ハチル フミ アヌ。(物語中で) 私は落ちる音を聞いた。

ハポ hapo **母**。**バルカル** parkar **辛い**。※自動詞。**バルル** paruru **〜のへり、〜の縁**。**ビットク** pittok **オオハナウド**。**ヒネ** hine **〜して**。※イネineと発音されることもある。**ピリカ** pirka **良い、大丈夫だ、立派だ、美しい、きれいだ**。※自動詞。(11) ソモ クメライケ。ピリカ。私は寒くない。大丈夫だ。(19) エチオカ エチキラ ヤッピリカ。あなた達は逃げなさい。(24) ルリ ビリカ。だしが良い。(34) ピリカ コタン。立派な村。(41) アエ フミ ビリカ。(一般に人が) 食べた感じが良い。(48) アミツ ビリカ ッ。着物のよいもの。

フ p **〜もの**。※前にくる修飾語の語末は開音節。**フネ p ne** **〜ものだ**。**フネ クス p ne kusu** **のだから**。**フキナネ** hukinane **若草色だ**。※自動詞**フチ** huci **おばあさん、祖母**。※血縁関係があってもなくても使える。**フミ** humi **音、感じ**。**フミ** humi! **なあ**。※味や(皮膚) 感覚に関する感嘆文の文末。**フレ** hure **赤い**。※自動詞。(20) フレ ノンノ。赤い花。**ペ pe** **〜もの**。※前にくる修飾語の語末は閉音節。**ペカンケ** pekanke **浮く**。※自動詞 ペカンケ ワ モム コロアン。浮いて流れていた。**ペケンヌベ** pekennupe **清い涙**。※ペケル peker清い ヌベ nupe 涙 をつづけて発音するとペケンヌベとなる。

ヘタク hetak **さあ**。**ベツ** pet **川**。**ペネ** pe ne **〜ものだ**。※文末表現。**ペネ クス pe ne kusu** **ものですから**。**ヘブニ** hepuni **顔を上げる**。※自動詞。(20) クヘブニ アクス エクスコンナ アイヌ アシ ワ アン。私が顔を上げると突然人が立っていた。**ヘンパックスイ** hempaksuy **何度も**。**ヘンパクト** hempakto **幾日、何日**。※疑問詞。ヘンパツ hempak「いくつの」 ト to「日」。

ヘンバラ hempla **いつ**。**ホク** hok **を買う**。※他動詞。(22) ネッカ クホク クス クオマナン。何か私は買うために歩き回った。**ポコン** pokon **〜みたい**に。**ホシキノ** hoskino **先に**。**ポツケ** pokke **温かさ**。※ポツケ popkeがポツケ pokkeと音変化している。(36) ポツケ ランラン。暖かさよどんどん降りる(暖かくなあれ)。**ホツケレ** hotkere **寝かす**。※他動詞。(43) カムタチ シツポ アコポイエ ワ アホツケレ。(一般に人が) 麹と塩を加えて寝かす。**ポツケ** popke **温かい**。※自動詞。

ホルケウ horkew **オオカミ**。**ポロ** poro **大きい、大きくなる**。※自動詞。(24) エポロ ルウエ!あなたは大きくなったねえ。(27) ポロ メノコ。大きな女。(43) ポロ オンタロ。大きな樽。(44) エアニ カ エポロ アカナッ タアコラチ エイキ ワ。おまえも大きくなったらこの通りにして。(49) ポロ オベレ。一人前の女の子。

ポロンノ poronno **たくさん**。**ポン** pon **小さい、幼い**。※自動詞。**ボンノ** ponno **少し、ちょっと**。**マ ma** **〜て**。※発音しにくい「アン ワ」の「ワ」が「マ」と発音されたもの。**マタキ** mataki **〜の妹**。※所属形の短形。概念形はマタツmataki。**マッカチ** matkaci **女の子**。**マツネポ** matnepo **娘**。※「若い女」という意味ではなく、息子に対する「娘」。**ミ mi** **を着る**。※他動詞。(48) ネア アミツ アミ ワ。(物語中で) その着物を私は着て。**みぞルル** MISO rur **みそ汁**。**ミチ** mici **おとうさん**。**ミナ** mina **笑う**。※自動詞。(44) エカシ フチ ミナ カネ アエンコイルシカ。祖父と祖母が笑いながら私は叱られた。**ミレ** mire **を着せる**。※他動詞。(48) アミツ ビリカ ッ アニミレ。着物の良いのを私は着せられる。(48) アミツ サンケ ワ イミレ。(物語で) 私に着物を出して着せる。

ムネケンナイ munekennay ※正体不明の非常に霊力の強い虫。**メアン** mean **寒い**。※完全動詞。**メノコ** menoko **女**。**メマン** meman **涼しい**。※自動詞。**メライケ** merayke **寒い**。※自動詞。(11) ソモ エメライケ?あなたは寒くない?(11) ソモ クメライケ。私は寒くない。**モコロ** mokor **眠る**。※自動詞。(36) ヘタク ヘタク モコロ ヤン。さあざあ眠りなさい。**モソソ** mososo **を起こす**。※他動詞。(18) ウンモソソ。(相手を含まない) 私達を起こした。**モム** mom **流れる**。※自動詞。(38) ペカンケ ワ モム コロ アン。浮いて流れている(最中だ)。**ヤ ya** **か**。※疑問を示す終助詞。**ヤイクンヌカヲ** yaykunnukar **自分の姿を見る**。※自動詞。ヤイクル yaykur「自分の姿」、ヌカヲnukar「を見る」。(50) ベツ オッタ サッアン イネ ヤイクンヌカラアン。(物語中で) 私は川に下りて自分の姿を見た。

ヤイコブンテク yaykopuntek **喜ぶ**。※自動詞。(40) ハポ アナッ ヤイコブンテク。母は喜んだ。**ヤイコランケ** yaykoranke **ひとりで落とす**。※ヤイコ yayko「ひとりで」を示す接辞。ランケ ranke「落とす」。(28) トウベケンヌベ レベケンヌベ ヤイコランケ。ふたつの清い涙、みつつの清い涙を流している(ハラハラとたくさん涙を流している)。**ヤイトツバレ** yaytupare **気をつける**。※自動詞。(13) ヤイトツバレ ワ オマン。気をつけて行きなさい。(13) ヤイトツバレ ワ オカヤン。気をつけてお過ごしください。**ヤイヌ** yaynu **思う**。※自動詞。(3) クアニ カ エネ クヤイヌ。私もそう思う。(50) オカケタ エアシ! ヤイヌアン。(物語中で) そのあとで初めて私は思った。(50)「…」アリ ヤイヌアン。(物語中で)「…」と私は思った。**ヤク yak** **〜たら**。※構文:エ〜 ヤクピリカ、エチ〜 ヤクピリカで命令文となる。**ヤクン** yakun **〜したら**。※文と文をつなぐ働きをもつ。**ヤッカ** yakka **〜ても**。※文と文をつなぐ働きをもつ。**ヤン** yan **〜なさい**。※複数に対する命令のとき動詞の後ろに置かれる。**ラタシケ** rataskep **ラタシケツ(料理名)、山菜**。※山菜や野菜を煮た汁気のない料理。**ラン** ran **降りる**。※自動詞。単数形。複数形はラツrap。(36) ポツケ ランラン。暖かさよどんどん降りる(暖かくなあれ)。

ランケ ranke **〜すつ**。**ランラン** ranran **どんどん降りる**。※自動詞。(36) ポツケ ランラン。暖かさよどんどん降りる(暖かくなあれ)。**リキッ** rikip **登る**。※自動詞。複数形。単数形はリキンrikin。(48) ニ カ タ リキッアン。(物語中で) 木の上に私は登った。**ルウエ** ruwe **こと、の**。**ルウエ** ruwe **なあ**。※事実に関する感嘆文の文末。**ルウエ エッタ アン ネ** ruwe esta an ne **のですよ**。**ルウエ エネ アニ アン** ruwe ene an i an **〜するなんて**。**ルウエ タ アン** ruwe ta an **のですか**。**ルウエ ネ** ruwe ne **のだ**。※文末表現。**ルスイ** rusuy **〜したい**。**ルリヒ** rurihi **〜の汁**。※所属形の長形、概念形はルルrur。

ルル rur **汁、汁物**。**ルルカラ** rurkar **汁を作る**。※自動詞。ルルrur「汁」、カラkar「を作る」。(40) ウサ ルルカラ。いろいろ汁を作る。(42) ルルカラ コオンノ ネアンベ オ。汁を作るとそれを入れる。**ルンニ** runni **汁を飲む**。※自動詞。ルルrur「汁」、ニni「を吸う、を飲む」。(42) サポ ルンニ ワ イヌ。姉さん汁を飲んでみて。**ルンヌ** runnu **しょっぱい**。※自動詞。**レ re** **みつつの**。※数連体詞(名詞を修飾する)。**レス** resu **を育てる、を養う**。※他動詞。(47) アコロ フチ イレス。(物語で) 私の祖母が私を育てた。**レタル** retar **白い**。※自動詞。**レタン** retan **白い**。※「レタル ノンノ」が発音しにくいので「レタン」が発音されたもの。(20) レタン ノンノ。白い花。**レフ** rep **3匹(個、台、冊…)**。※物を数える言い方。**レルコ** rerko **3日**。**レン** ren **3人**。※人数を数える言い方。

ロ ro **しよう**。**ロク** rok **座る**。※複数形。単数形はア a。(39) アベ オカリ アイヌ ロクワ オカ。いろいろのまわり那人が座っている。**ワ wa** **〜から**。※位置名詞の後ろに置かれる。**ワ wa** **〜して**。※文と文をつなぐ働きをもつ。**ワ wa** **よ**。※語調をやわらげる終助詞。**ワ アン** wa an **(すでに)〜している/ある**。※動作が終わって、そのまますたであることを表わす。(20) アシ ワ アン。立っていた。(30) クエツワ クアン。私は来ていた。(39) チカッ アキツマ ワ アン。鳥を私はつかんでいた。(39) ハチリワ アン。(すでに) 落ちている。**ワ イサム** wa isam **〜してしま**う。※ワ wa「〜して」、イサム isam「ない」。(37) ウッシ ワ イサム。うつ伏せになってしまった。(50) オンネ ワ イサム。死んでしまった。**ワ イヌ** wa inu **〜してみる**。※視覚的なことには ワ インカラ wa inkarを使う。(42) ルンニ ワ イヌ。汁を飲んでみて。**ワ オカ** wa oka **(すでに)〜している/ある**。※動作が終わって、そのまますたであることを表わす。(39) ロク ワ オカ。(すでに) 座っている。(47) ポン マッカチ アネワ オカアン。(物語中で) 私は(すでに) 幼い女の子になっていた。(47) ポン オベレ アネワ オカアン。(物語中で) 私は(すでに) 小さい女の子になっていた。

ワッカ wakka **水**。**ワッカタ** wakkata **水くみする**。※自動詞。(47) ワッカタ ネヤツカ ニナ ネヤツカ エキ ナンコン ナ。水くみでも焚き木とりでもおまえがしなさい。(47) ワッカタアン ウサ キ。(物語中で) 私は水くみしたりした。(48)「ワッカタ」アリ ハウキ。「水くみしなさい」と言う。(48) ワッカタアン ソモ キ ナ。(物語中で) 私は水くみしないよ。(49) エアニ ワッカタ ソモ エキ ヤクン。おまえが水くみしなかったら。(49) ワッカタアン カ ソモ キ ノ オカアン。(物語中で) 私は水くみもしないでいた。

アイヌ語教室の開設状況

(平成17年12月現在)

教室名	会 場	問 合 わ せ 先
平取町二風谷アイヌ語教室	〒055-0101 沙流郡平取町字二風谷 二風谷子ども図書館 TEL (01457) 2-3368	〒055-0101 沙流郡平取町字二風谷 二風谷子ども図書館 TEL (01457) 2-3368
旭川アイヌ語教室	〒070-0823 旭川市緑町15丁目 旭川市市民生活館 TEL (0166) 52-8866	〒070-0824 旭川市錦町13丁目 (社)北海道ウタリ協会旭川支部 TEL (0166) 53-1005 〒070-0825 旭川市北門町11丁目 川村カ子ト アイヌ記念館 TEL (0166) 51-2461
浦河アイヌ語教室	〒057-0033 浦河郡浦河町堺町東1丁目6 浦河町堺町生活館 TEL (01462) 2-5795	〒057-0033 浦河郡浦河町堺町東1丁目6 浦河町堺町生活館 TEL (01462) 2-5795
釧路アイヌ語教室	〒085-0813 釧路市春採1丁目12-22 釧路市春採生活館 TEL (0154) 41-7083	〒085-0813 釧路市春採1丁目12-22 釧路市春採生活館 TEL (0154) 41-7083
札幌アイヌ語教室	〒003-0026 札幌市白石区本通20丁目南1-56 札幌市共同利用館 TEL (011) 862-1841	〒081-2274 札幌市南区小金湯27 アイヌ文化交流センター内 TEL (011) 596-1610 〒003-0026 札幌市白石区本通20丁目南1-56 札幌市共同利用館 TEL (011) 862-1841
白老アイヌ語教室	〒059-0902 白老郡白老町若草町2丁目3-4 (財)アイヌ民族博物館 TEL (0144) 82-3914	〒059-0902 白老郡白老町若草町2丁目3-4 (財)アイヌ民族博物館 TEL (0144) 82-3914
千歳アイヌ語教室	〒066-0068 千歳市新星1丁目3-7 蘭越生活館 TEL (0123) 23-4964	〒066-0068 千歳市新星1丁目3-7 蘭越生活館 TEL (0123) 23-4964
静内アイヌ語教室	〒056-0011 静内郡静内町字真歌 シャクシャイン記念館 TEL (01464) 2-6792 〒056-0014 静内郡静内町古川町1丁目1-2 静内町公民館 TEL (01464) 2-0075	〒056-0017 静内郡静内町御幸町3丁目2-50 静内町役場保健福祉部住民福祉課 TEL (01464) 3-2111
鶴川アイヌ語教室	〒054-0023 勇払郡鶴川町末広町2丁目 ムベツ館 TEL (01454) 2-5959	〒054-0023 勇払郡鶴川町末広町2丁目 ムベツ館 TEL (01454) 2-5959
帯広アイヌ語教室	〒080-0055 帯広市柏台東町2丁目 帯広市生活館 TEL (0155) 34-6552	〒080-0055 帯広市柏台東町2丁目 帯広市生活館 TEL (0155) 34-6552
白糠アイヌ語教室	〒088-0301 白糠郡白糠町東1条南3丁目 白糠町生活館 TEL (01547) 2-2455	〒088-0301 白糠郡白糠町東1条南3丁目 白糠町生活館 TEL (01547) 2-2455
登別アイヌ語教室	〒059-0013 登別市幌別町3丁目17 登別市鉄南ふれあいセンター TEL (0143) 85-1062	〒059-0013 登別市幌別町3丁目17 登別市鉄南ふれあいセンター TEL (0143) 85-1062
苫小牧アイヌ語教室	〒053-0803 苫小牧市矢代町2-1-11 苫小牧市生活館 TEL (0144) 72-4297	〒053-0803 苫小牧市矢代町2-1-11 苫小牧市生活館 TEL (0144) 72-4297
様似アイヌ語教室	〒058-0014 様似郡様似町大通2丁目 様似町東様似生活館 TEL (01463) 6-5656	〒058-0014 様似郡様似町大通2丁目 様似町東様似生活館 TEL (01463) 6-5656

※ これらは、社団法人北海道ウタリ協会が開設しているアイヌ語教室(14地区)ですが、このほかにも、他の団体等が主催する学ぶ会などが、北海道内や関東・関西地区などで開設されています。

アイヌ語ラジオ講座収録テープ及びミニディスク(MD)の貸出しについて

1.利用時間

財)アイヌ文化振興・研究推進機構:午前9時~午後5時(月~金)
アイヌ文化交流センター:午後1時~午後9時(火~金)、午前10時~午後6時(土・祝)

2.休業日

財)アイヌ文化振興・研究推進機構:土・日曜日、祝日、年末・年始(12月29日~1月3日)
アイヌ文化交流センター:月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始(12月29日~1月3日)

3.申込手続から受取

裏面の申込用紙を当財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録テープ等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

4.期 間

申込みの日から14日以内に返却してください。

5.お問合せ先

財)アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(7階)
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181
e-mail: ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター

〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目4番13号
アーバンスクエア八重洲(3階)
TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155
e-mail: acc-tokyo@frpac.or.jp

例題の解答 レッスン45 1 と※引用 2 こうやって 3 と※引用 4 で※手段 5 と※引用 6 で※手段
 レッスン52 1 クニナ カネ クアン。ku=nina kane ku=an 2 アミブ サンケ ワ エンミレ。amip sanke wa en=mire。
 3 ペッ オッタ クサン。pet or ta ku=san. 4 クコロ フチ エンコイルシカ。ku=kor huci en=koiruska。
 5 エアニワッカタ ソモエキ ヤクン eani wakkata somo e=ki yakun
 6 ワッカ クセ ワ クエク。wakka ku=se wa ku=ek。